

第七十六回 帝國議會衆議院

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件

委員會議錄(速記)第五回

昭和十六年一月二十九日(水曜日)午後一時
十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松田 正一君

理事宇賀 四郎君 理事駒井 重次君

理事高畠龜太郎君

中野 寅吉君 小野 謙一君

大内竹之助君 大橋清太郎君

坂田 道勇君 世耕 弘一君

田村 秀吉君 塚本 重藏君

朴 春 琴君 星 一君

森 肇君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省次官 廣瀬 豊作君

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏書記官 河野 一之君

大藏事務官 山住 克巳君

預金部資金局長 中村孝次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

(造幣局東京出張所ノ廳舍工場其ノ附屬設備ノ

ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要ス

ル經費ニ關スル件)(政府提出)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺

太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ

一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別

會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提

出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲

公債發行ニ關スル件)(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

朝鮮鐵道用資金會計法中改正法律案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

○松田委員長 ソレデハ前會ニ引續キマシテ開會致シマス——森君

○森(警)委員 別ニ質疑ノ通告モナイヤ

ウデスカラ、私疑ヲ質シタイト思ヒマス、

昨日歲入補填公債、即チ赤字公債ノ發行豫

定額及ビ發行濟額ノ比較表ヲ戴イタノデス

ガ、之ニ依リマスト、年々歲々大部發行不

用額ガ出テ居ルヤウデアリマス、殊ニ昭和

十四年ニ至ツテハ、十三億四千九百萬圓ト

云フ發行豫定額デアルノニ、發行濟額ガ九

億四千万圓、剩ス所ハ四億圓ヲ超エテ居ル

ト云フ狀態デアリマス、是ハ考ヘ方ニ依ツ

テハ支出スペカリシ金ガ支出セズニ濟ン

ダ、ソレダケ終局ニ於テハ國民ノ負擔ガ豫

算ヨリモ輕クナツタト云フ譯ダカラ、結構

ナコトノヤウデアリマスケレドモ、四億

ノ金ハ今日ニ於テハ何デモアリマセヌケ

レドモ、我國ノ議會始マツテ以來五十幾年

ノ歴史ヲ顧ミテ見ルト、四億ナント云フノハ、日露戰爭當時ニ於ケル厖大豫算ダト言モ、私今ニマザノト記憶致シテ居ルノデアリマスガ、昭和九年ニ昭和十年度ノ豫算ハレタ數字ニ達シテ居ル、最近ニ至ツテモ、私今ニマザノト記憶致シテ居ルノデアリマスガ、昭和九年ニ昭和十年度ノ豫算ヲ作ラウト云フ時ニ、十八億ノ線ヲ越スカ

ノ、藤井君ノ如キハ、エライ奮闘ヲサレ、最後ニハ遂ニ命ヲ的ニサレタヤウナコトモア越サヌカト云フコトデ、當時ノ大藏大臣ノ豫算閣議ノ有様ハ、吾々モ傍ニ居ツテ見ツタヤウナ状況デ、當時ノ首相官邸ニ於ケル豫算閣議ノ有様ハ、吾々モ傍ニ居ツテ見テ、寶ニ涙ガ出ル程デアツタ、サウ云フコトカラ比較シテ見ルト、四億ナント云フ金ハソンナ小サイ金デヤナシ、豫算ハ何處マデモ豫算ダト仰シヤレバ、ソレマデノコトスル所ハ、豫算シタル數字ガ、最後ノ決算デズケレドモ、私ハ豫算編成技術ノ理想トニ於テ殆ド變リナキ數字ニナルコトガ、本當ノ目標デナケレバナラスト思ヒマス、ソ

レニ四億ト云フ大キナ金ガ剩ツテ居ルノデ
スカラ、ドウ云フ事情デ剩ツタノデアリマ
セウカ、十四年度ニ付テノ御説明ヲ願ヒマ
ス

○廣瀬政府委員 只今ノ御質問ハ昭和十四
年度ニ於キマシテ、歳入補填公債、即チ赤
字公債ノ發行豫定額ガ、十三億四千幾ラト
アリマシタノガ、實際ノ發行額ハ九億四
千餘万圓デアリマシテ、差引發行豫定殘額
ガ、四億八百万圓ト云フコトニナツテ居ル
ガ、是ハドウ云フ譯デアルカト云フ御尋ネ
ト存ジマス、是ハ御承知ノヤウニ最近二三
年ハ、毎年豫算ガ成立シマシタ後ニ於テ、
實行豫算ヲ持ヘテ、歲出ノ節約ヲ圖ツテ居
ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、十四年
度ニ於キマシテモ、實行豫算ヲ作リマシテ、
歲出ノ節約ヲ圖ツタノデアリマス、其ノ結
果或ル程度ノ不用額ガ出ル、ソレダケハ赤
字公債ガ減ラナケレバナラヌ譯デアリマス、
又赤字公債ノ發行ヲ減ラス目的デ以テ節約
ヲ圖ツテ居ル、今一つハ租稅ノ自然增收、
是ガアリマス爲ニ、ソレニ依ツテ又歳入ガ
豫定以上ニ植エマスカラ、隨ヒマシテ赤字
公債ガ減ルト云フ勘定ニナル譯デアリマス、
此ノニツガ大キナ要素デアリマスルガ、尙
ホ是ニアリマスルノハ、發行豫定殘額デア
リマシテ、必ズシモ不用額ト云フ意味デハ
ゴザイマセヌ、即チ公債法ニアリマスヤウ
ニ、十四年度ニ於テ發行スペキ權能ヲ與ヘ
ラレマシタ赤字公債モ、十五年度ニ於テ發
行シ得ル權能ガアルノデアリマス、隨ヒマ
シテ、此ノ發行残額ノ中、或ル部分ハ十五
年度ニ於テモ發行シ得ルノデアリマシテ、
此ノ數字ハ必ズシモ是ダケ不用額トナツタ
ト云フ譯デハゴザイマセヌ、サウ云ツタ

ウナ事情カラ致シマシテ、大體此處ニアリ
マス金額ハ、歲出ノ節約ト、ソレカラ自然
增收、其ノ結果斯ウ云ツタヤウニ赤字公債ノ
發行ヲ減ジ得タト云フヤウニ、御承知置キ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ財政ノ問題ニ
付テ御言及ニ相成リマシタガ、御説ノ通り
私共モ記憶シテ居ル所デアリマスルガ、斯
ノ如ク一方ニ於テ國ノ財政ガ全體トシテ膨
脹致シマシタ結果、歲出ノ節約、或ハ自然
增收モヤハリ數字ガ大キクナルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、豫算カラ見レバ、或ル意
味ニ於ケル食違ヒト申シマスカ、サウ云ツ
タヤウナモノガ相當多額ニナルト云フコト
ハ、國ノ財政ノ全體ガ大キクナツタ關係上、
或ル意味ニ於テハ當然デアルカト思フノデ
アリマスガ、大藏大臣ノ豫算御提出ノ演說
テハ能ク分ルノデスガ、私ハ是ハ昨年他ノ
委員會ニ於テ櫻内大藏大臣ニ申上ゲタノデ
アリマスガ、大藏大臣ノ豫算御提出ノ演說
ヲ伺ツテ見ルト、一ツノ方面カラハ非常ニ
立派ナ豫算デ、一字一劃ノ增減ガ出來ナイ
ト云フ御説明ニナツテ居ルカト思フト、一
面ニ於テハ單價ノ見積り等ノ關係カラ或ハ
増サナケレバナラヌカモ知レヌ、斯ウ云フ
御説明デアツタ、サウシテ一面ニ於テハ餘
テ臨時軍事費ト云フモノハ盛ニ要ルノデ
アリマス、尙ホ政府ガ歲出節約ヲ年々豫算
成立後ニ致シマスト云フノモ、赤字公債ハ
成程減ラシ得ルノデアリマスガ、一方ニ於
テ臨時軍事費ト云フモノハ盛ニ要ルノデ
アリマス、サウ云ツタヤウナ財源ガ要リ
マスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
イト云フコトニナル譯デアリマシテ、是
タマスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ニ中心ガアルノデスカト實ハ私ハ御尋ネシ
タ、是ガズット我が議會ノ歴史ヲ見マシテ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ハ議會ヲ豫算ガ通過シテ居ラスト私ハ思ヒ
マス、併シ此ノ頃ハ兎ニ角金ノ高ガ大キク
ナリマシタカラ、千万圓ヤ二千万圓ノ金ハ
皆問題ニシテ居ラヌ、役所ノ方デモサウ云
フ御氣持ガアル、更ニ一億ドコロヂヤナイ、
五億、八億餘ツテ來テモ、平然トシテ餘ル
ンデスト仰シヤル、私ハソレハドウモ豫算
ノ立て方カラ言ヘバ立派ナモノデハナイト
思フ、現ニ昨年ノ如キモ多額ノ豫算ヲ議決
セシメテ——ソレハ大藏省ノ方ダト云フ噂
デアルガ、ドナタデアツタカ知リマセヌガ、
豫算委員室ヲ御出ニナル時ハ、是ダケノ金ヲ
貰ツタガ使ヒ切レルダラウカト仰シヤツタ
デアリマスカラ、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
サウデアリマス、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
ト云フモノハ、其ノ差額ノ二、三億デアリ

マセウ、併シ臨時軍事費ダゲカラ見レバ、
ニ豫算ノ數字ト決算ノ數字トニハ食違ヒガ
ガ出ルノデアリマス、赤字公債ハ六、七億
發行ヲ減ジ得タト云フヤウニ、御承知置キ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ財政ノ問題ニ
付テ御言及ニ相成リマシタガ、御説ノ通り
私共モ記憶シテ居ル所デアリマスルガ、斯
ノ如ク一方ニ於テ國ノ財政ガ全體トシテ膨
脹致シマシタ結果、歲出ノ節約、或ハ自然
增收モヤハリ數字ガ大キクナルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、豫算カラ見レバ、或ル意
味ニ於ケル食違ヒト申シマスカ、サウ云ツ
タヤウナモノガ相當多額ニナルト云フコト
ハ、國ノ財政ノ全體ガ大キクナツタ關係上、
或ル意味ニ於テハ當然デアルカト思フノデ
アリマスガ、大藏大臣ノ豫算御提出ノ演說
ヲ伺ツテ見ルト、一ツノ方面カラハ非常ニ
立派ナ豫算デ、一字一劃ノ增減ガ出來ナイ
ト云フ御説明ニナツテ居ルカト思フト、一
面ニ於テハ單價ノ見積り等ノ關係カラ或ハ
増サナケレバナラヌカモ知レヌ、斯ウ云フ
御説明デアツタ、サウシテ一面ニ於テハ餘
テ臨時軍事費ト云フモノハ盛ニ要ルノデ
アリマス、サウ云ツタヤウナ財源ガ要リ
マスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
イト云フコトニナル譯デアリマシテ、是
タマスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ニ中心ガアルノデスカト實ハ私ハ御尋ネシ
タ、是ガズット我が議會ノ歴史ヲ見マシテ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ハ議會ヲ豫算ガ通過シテ居ラスト私ハ思ヒ
マス、併シ此ノ頃ハ兎ニ角金ノ高ガ大キク
ナリマシタカラ、千万圓ヤ二千万圓ノ金ハ
皆問題ニシテ居ラヌ、役所ノ方デモサウ云
フ御氣持ガアル、更ニ一億ドコロヂヤナイ、
五億、八億餘ツテ來テモ、平然トシテ餘ル
ンデスト仰シヤル、私ハソレハドウモ豫算
ノ立て方カラ言ヘバ立派ナモノデハナイト
思フ、現ニ昨年ノ如キモ多額ノ豫算ヲ議決
セシメテ——ソレハ大藏省ノ方ダト云フ噂
デアルガ、ドナタデアツタカ知リマセヌガ、
豫算委員室ヲ御出ニナル時ハ、是ダケノ金ヲ
貰ツタガ使ヒ切レルダラウカト仰シヤツタ
デアリマスカラ、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
サウデアリマス、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
ト云フコトハ私ハ事實ダト思フ、斯ウ云フ
コトヲ理財局ノ關係ノ方ニ御尋ネシタツテ、
是ハ一寸門違ヒデアリマセウガ、次官ハ大

マセウ、併シ臨時軍事費ダゲカラ見レバ、
ニ豫算ノ數字ト決算ノ數字トニハ食違ヒガ
ガ出ルノデアリマス、赤字公債ハ六、七億
發行ヲ減ジ得タト云フヤウニ、御承知置キ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ財政ノ問題ニ
付テ御言及ニ相成リマシタガ、御説ノ通り
私共モ記憶シテ居ル所デアリマスルガ、斯
ノ如ク一方ニ於テ國ノ財政ガ全體トシテ膨
脹致シマシタ結果、歲出ノ節約、或ハ自然
增收モヤハリ數字ガ大キクナルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、豫算カラ見レバ、或ル意
味ニ於ケル食違ヒト申シマスカ、サウ云ツ
タヤウナモノガ相當多額ニナルト云フコト
ハ、國ノ財政ノ全體ガ大キクナツタ關係上、
或ル意味ニ於テハ當然デアルカト思フノデ
アリマスガ、大藏大臣ノ豫算御提出ノ演說
ヲ伺ツテ見ルト、一ツノ方面カラハ非常ニ
立派ナ豫算デ、一字一劃ノ增減ガ出來ナイ
ト云フ御説明ニナツテ居ルカト思フト、一
面ニ於テハ單價ノ見積り等ノ關係カラ或ハ
増サナケレバナラヌカモ知レヌ、斯ウ云フ
御説明デアツタ、サウシテ一面ニ於テハ餘
テ臨時軍事費ト云フモノハ盛ニ要ルノデ
アリマス、サウ云ツタヤウナ財源ガ要リ
マスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
イト云フコトニナル譯デアリマシテ、是
タマスカラ、此ノ公債ハ出來ルダケ減ラシタ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ニ中心ガアルノデスカト實ハ私ハ御尋ネシ
タ、是ガズット我が議會ノ歴史ヲ見マシテ
モ、今ヨリ二十年カ二十四、五年前ノ議會
デアツタナラバ、左様ナ生優シイ御説明デ
ハ議會ヲ豫算ガ通過シテ居ラスト私ハ思ヒ
マス、併シ此ノ頃ハ兎ニ角金ノ高ガ大キク
ナリマシタカラ、千万圓ヤ二千万圓ノ金ハ
皆問題ニシテ居ラヌ、役所ノ方デモサウ云
フ御氣持ガアル、更ニ一億ドコロヂヤナイ、
五億、八億餘ツテ來テモ、平然トシテ餘ル
ンデスト仰シヤル、私ハソレハドウモ豫算
ノ立て方カラ言ヘバ立派ナモノデハナイト
思フ、現ニ昨年ノ如キモ多額ノ豫算ヲ議決
セシメテ——ソレハ大藏省ノ方ダト云フ噂
デアルガ、ドナタデアツタカ知リマセヌガ、
豫算委員室ヲ御出ニナル時ハ、是ダケノ金ヲ
貰ツタガ使ヒ切レルダラウカト仰シヤツタ
デアリマスカラ、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
サウデアリマス、ソレハ廊下蔦ノ話ダカラ
ト云フコトハ私ハ事實ダト思フ、斯ウ云フ
コトヲ理財局ノ關係ノ方ニ御尋ネシタツテ、
是ハ一寸門違ヒデアリマセウガ、次官ハ大

體ヲ御統轄ニナツテ居ルノダカラ申上ゲテ
置キマスガ、豫算ヲ御編成ニナル時ニモウ
少シ御注意ニナツテ、折角出來タ豫算ヲ進
行ノ途上、ソレモ半年トカ八ヶ月トカ過ギ
タ後ニ、世ノ中ノ事情ガ變ツテヤレナクナ
ツタト云フヤウナ事情ノ爲ニ御止シニナル
ノハ結構デアル、ケレドモ豫算ヲ吾々ニ協
贊サセテ置イテ、翌日カラ實行豫算ニ掛ル
ナドト云フ人ヲ馬鹿ニシタ話ハナイヂヤナ
イカト云フ私ハ議論デアル、モウ少シ此ノ
豫算ノ方ヲ、本當ニ緊縮スベキハ緊縮ナサ
ツテ、今ノ各省互ヒニ奪ヒ合ヒノ弊ヲ御矯
メニナツテ、最後ノ決算ヲ見ル時ニ、流石
ニ立流ナ豫算デアツタト吾々ヲ首肯セシメ
ルニ足ル豫算ヲ御作リニナル方ガ宜シイノ
デハアリマセヌカ、ドウシテモサウ云フ譯
ニ參リマセヌカ、豫算ノ奪ヒ合ヒノ實情ナ
ド私共モ多少ハ承知シテ居リマス、私共モ
奪ヒ合ヒノ立場ニ立ツタ一人デアツタコト
モアルカモ知レマセス、併シ是ハ良クナイ
ト思ヒマス、ヤハリ大藏省ト云フ最後
ノ關門ニ於テ思ヒ切ツタル鉈ヲ御加ヘ
ニナツテ行ケバ、斯様ナ妙ナモノハ出テ
來ナイ筈デアリマス、借りヨウト思ツタケ
レドモ借りリナカツタカラ宜イデハナイカト
云フ譯デハ私ハ濟マヌト思フ、是ハモウ少
シ、御注意下サル譯ニハ參ラヌモノデアリ
マセウカ、ソレハ姑ク措イテ、此ノ赤字
公債ナルモノヲ初メテ發行サレタ、丁度高橋
大藏大臣ノ農救土木事業六億圓ノ豫算ヲ立
テラレタアノ時ノ氣持カラスレバ、モウ今
頃ハ大藏省トシテモ如何ニシテ此ノ赤字財
政ノ方針ヲ止メヨウカト云フコトニ御研究
ガ及バナケレバナラヌ時期デハナイカ車變
ガ一方ニアルカラ左様ナコトハ出來ヌ、斯

ウ仰シヤルカモ知レマセヌガ、私ハ是ハ一ツノ建前デ、事變處理ノ方ニ要スルモノハ公債デオイデニナツタラ宜カラウ、一方ニ於テ收入ガ増シテ參ツタラ、其ノ收入ガ増シテ參ツタモノヲ一般會計ニ御收入ニナツテ行ケバ、赤字公債ト云フモノハコンナニ年々歳々大太リニナラヌデモ濟ムノデヤナイカ、赤字公債ヲ以テヤツテ行クト云フ所ニ歳計膨脹ノ一つノ原因ガアル、必要」ムル得ザル限度ニ御取りニナルコトハ私ハ少シモ異議ガナイ、私ハ消極論者デハアリマセス、ナサナケレバナラヌ仕事ハヤルガ宜シイケレドモ、其ノダブ付クベキ餘地ヲ殘シテ置イテ、ダブ付カセテオイデニナルト云フ所ニ非常ナ弊害ノ因ガアルノデスカラ、モウ何ト力御考ヘニナルベキ時代デハアリマセヌカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御尋ネ致シタ、ソレニ付テ當時六億ノ農救土木事業費ヲ御出シニナルト云フアノ時ノ我國ノ租稅收入ハ、髓力八億圓ニ足ルカ足ラスカデアツタラウト思ヒマス、非常ニ減ツタ時デアルカラ其ノ程度デアツタ、ソレガ段々進ンデ參ツテ、昨年ノ春ノ稅ノ委員會ニ於ケル太藏大臣其ノ他ノ御説明デハ、三十二億カ三億ヨリ收入ハナイト仰シヤツタノデアルガ、私共ハ更ニ五億ヤ六億ハ増スト思ツタラ、果セルカナ增シテ居ル、豫定サレタヨリモ餘計稅金ハ入ツテ居ル、而モ本年モ昭和十六年度ノ終リニ於テハ、此ノ稅金ノ收入ト云フモノハ或ハ四十億ヲ相當超エルノデハナイカ、ソレ程ノ時期ニ至ツテモ尙ホ赤字デ賄ツテ行カナケレバナラヌ、赤字デ以テ公債ヘ持ツテ行クコトガ原則ノヤウニ御覽ニナルト、何時ニナツテモ此ノ病氣ハ治リハシナイ、何トカ今カラ一ツ御考ヘニナルベキデハア

○廣瀬政府委員 實行トノ間ノ開きニ付テ、各方面カ
併シは只今森御同感ノ點モ多々アリマス、詰リモ
ウ云フコトモ御考合セテ豫算ヲ出額ニ對シテ歲出
額ハセテ豫算ヲ出リマス、是ガ外國入歲出ノ「バラン
入歲出ノ國モアリマス、是ダニテ年少時代ニ於キ
レバ、只今御話ニ赤字時代ニ於キダ、歲出ハ是ダニ
然ルベク賄ヒマツタヤウナ議案レデ協賛ヲ得テ豫
定額ガ十三億圓ノ國債四千万圓ノ國債ハ十三億
圓シカ要ラナカニヤウナコトハ萬圓シカ要ラナカ
併シナガラ初メ

豫算ト決算ト申シマスカ、
イガ非常ニ多イト云フコト
カラノ御尋ネト思ヒマス、
ソシノ御意見ノ點ニハ洵ニ
ヌアルノデアリマスガ、斯
名ヘヲ願ヒタイト思フノデ
我が國ノ豫算ハ歲入歲出ト
均衡ヲ取リマシテ、歲入總
額ト云フモノヲピタツト
山スト云フ建前ニナツテ居
ス、サウ云フ所デアリマス
ニナリマシタヤウナスウ云
マシテハ、歲入ハ是ダケ
ク要ルガ、差引歲入不足ハ
ス、或ハ此ノ歲入不足ニ相
ノ政府が必トスル金額ダ
權能ヲ得サセテ下サイト
柔ヲ議會ニ出シマシテ、ソ
直ケバ、別ニ初メカラ發行
成ラトカ言ハヌデモ、初メ
不足デアルケレドモ、其ノ
實行シテ見タラ九億四千
カツタカラト云ツテ、九億
發行スレバ、只今ノ御質
ハ起ラナインデアリマス、
カツタ歳入歲出ノ「バラソス」

ヲ取ラナイ豫算ヲ出スノガ宜イカ、或ハ「バランス」ヲ取ツタ豫算ヲ出ス方ガ宜イカト云フコトニ付テハ、豫算編成論トシテハ幾多ノ議論ガアリマス、我ガ國ニ於テハ色々過去ニ於テモ研究サレタコトデアリマスガ、ヤハリ歳入全體ノ見透シヲ付ケルト云フ點ニ於テハ、政府ニ於テモ國民ニ於テモ、ヤハリ歳入全體ノ大體ノ輪廓ガ分リ、歳出ノ全體ノ大體ノ輪廓ガ分ルコトガ宜カラウト云フコトデ、今日ノヤウナ赤字財政ノ時代ニ於テモ、一應歳入歳出ノ「バランス」ヲ取リマシテ、サウシテ國債ノ發行額ト云フモノモ、ヤハリ當初ニ於テハ歳入不足ノ金額ダケハ赤字公債デ賄フト云フ建前ニシテ居ルト云フ譯デアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、是ガ只今森サンノヤウナ御意見デアルト、寧ロ初メカラ「バランス」ヲ取ラナイデ行ク方ガ宜イヤウニモ思ヒマスガ、是ハヤハリ已ムヲ得マセヌカラ、一應ハ歳入歳出ノ「バランス」ヲ取ツタモノデ御協贊ヲ得ルノガ適當カト存ジマス

ヲ致サセマシテ、サウシテソレヲ査定致シマスノハ十月カラ十一月ト云ツタヤウナ状態デアリマスカラ、其ノ半年ノ食違ヒ、極端な場合ニハ一年半ノ食違ヒト云フモノガ、是ガ平時ノ餘リ内外ノ情勢ノ變化ノナイ時代ニ於テハ、只今ノヤウナ御咎メラ蒙ルノモ是ハ已ムヲ得ヌカト思ヒマスガ、今日ノガ豫算ノ實行ヲ致ス途中ニ於テ、或ル程度ノ變化ガ起ルノハ已ムヲ得ナイコトガアルノデアリマス、又實行豫算ヲ編成スルニ付テ御咎メアリマシタガ、是モ政府ト致シマシテハ出來ルダケ豫算編成ノ當時ノ心持デ、又其ノ通リ實行致シタインデアリマスガ、一方ニ於テ、例ヘバ事變關係ノ經費ガ盛ニ要ル、其ノ爲ニ物ガ澤山要ルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、已ムヲ豫算ト雖モ、ソレヲ引締メテ、先ニ要ル所ノ方ヘ物ヲ向ケテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、已ムヲ豫算ト雖モ、ソレヲ引締メテ、先ニ要ル所ノ方ヘ物ヲ向ケテ行カナケレバナラヌ、斯

シテハ出來ルダケ豫算編成ノ當時ノ心持デ、又其ノ通リ實行致シタインデアリマスガ、一方ニ於テ、例ヘバ事變關係ノ經費ガ盛ニ要ル、其ノ爲ニ物ガ澤山要ルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、基キマシテ、租稅ノ見積リガ實際ト合ハヌト云フコトガ少カラズト存ズル次第アリマス
○森(醫)委員 只今ノ時勢ノ變動ヲ理由トシテ實行豫算ヲ作ラナケレバナラスト仰シヤル點ニ對シテハ、私ハ其ノ通リト申上げ兼ネル、今年ノ如キハ單價ノ關係カラ言ヘバ、寧ロ増シテ御取リニナレバ初メテ意味ヲ成スガ、單價關係カラ考ヘテ見テ、豫算ノリマシテ、決シテ醉狂デヤツテ居ル譯デハアリマセヌノデ、是ハ恐らく御同情ト申シマスカ、御諒解下サルト思ヒマスケレドモ、一年ノ途中ニ於テ實行豫算ヲ編成スルコトガ財務當局ニ於テ如何ニソレガ手數ナコトデアルカ、困難ナコトデアルカト云フコトヲ御推察下スツテモ宜シトイ思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、最近年々繰返シテ居ルト云フコトハ、即チ一方ニ於テソレヲナザラシメザルヲ得ナイヤウナ事情ガアルカラト云フコトヲ、能ク御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ赤字ノ出ナイヤウニスルニハ、

租稅ノ收入等ノ見積リモ、初メカラモツト見當ガ付キサウナモノダト云フ點ノ御話ガアリマシタガ、是モ只今シマシタト同ジヤウナ事情デアリマシテ、最近ノヤウニヤウナ時代ニ於テハ、假令豫算査定ノ際ニ於テ洶ニ嚴密ナ査定ヲ致シマシテモ、ソレノ豫算ノ實行ヲ致ス途中ニ於テ、或ル程度ノ變化ガ起ルノハ已ムヲ得ナイコトガアルノデアリマス、又實行豫算ヲ編成スルニ付テ御咎メアリマシタガ、是モ政府ト致シマシテハ、半年前、一年前ニ見込ヲ立テマシテハ、勿論不明ノ點ハ政府トシテハ幾多謝サナケレバナラヌ點モアルカト思フノデアリマスガ、又實際ニ於テサウ云ツタヤウナ關係カラ致シマシテ、租稅ノ見積リガ實際ト合ハヌト云フコトガ少カラズアルト云フコトモ、御諒承置キヲ願ヒタイト存ズル次第アリマス
○森(醫)委員 只今ノ時勢ノ變動ヲ理由トシテ實行豫算ヲ作ラナケレバナラスト仰シヤル點ニ對シテハ、私ハ其ノ通リト申上げ兼ネル、今年ノ如キハ單價ノ關係カラ言ヘバ、寧ロ増シテ御取リニナレバ初メテ意味ヲ成スガ、單價關係カラ考ヘテ見テ、豫算ノリマシテ、決シテ醉狂デヤツテ居ル譯デハアリマセヌノデ、是ハ恐らく御同情ト申シマスカ、御諒解下サルト思ヒマスケレドモ、一年ノ途中ニ於テ實行豫算ヲ編成スルコトガ財務當局ニ於テ如何ニソレガ手數ナコトデアルカ、困難ナコトデアルカト云フコトヲ御推察下スツテモ宜シトイ思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、最近年々繰返シテ居ルト云フコトハ、即チ一方ニ於テソレヲナザラシメザルヲ得ナイヤウナ事情ガアルカラト云フコトヲ、能ク御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラモウ一面ニ於テ、豫算協賛ノ實ガ

舉ツタ、其ノ翌日カラ早クモ實行豫算ニ着手ナサルト云フ裏面ニハ必ズシモ事實關係ガアルバカリデハナイ、是ハ次官トシテモ主計局トシテモオ困リニナツテ居ルコトハ私へ能ク知ツテ居リマス、能ク知ツテ居ルガ、強ヒテヤウナ關係カラ致シマシテモ、皆サンツタヤウナ關係カラ致シマシテ、租稅ノ收入モ豫算通リニ實績ガ現ハレテ來ナイト云フコトハ――勿論不明ノ點ハ政府トシテハ幾多謝サナケレバナラヌ點モアルカト思フノデアリマスガ、又實際ニ於テサウ云ツタヤウナ關係ニ基キマシテ、租稅ノ見積リガ實際ト合ハヌト云フコトガ少カラズアルト云フコトモ、御諒承置キヲ願ヒタイト存ズル次第アリマス
○森(醫)委員 只今ノ時勢ノ變動ヲ理由トシテ實行豫算ヲ作ラナケレバナラスト仰シヤル點ニ對シテハ、私ハ其ノ通リト申上げ兼ネル、今年ノ如キハ單價ノ關係カラ言ヘバ、寧ロ増シテ御取リニナレバ初メテ意味ヲ成スガ、單價關係カラ考ヘテ見テ、豫算ノリマシテ、決シテ醉狂デヤツテ居ル譯デハアリマセヌノデ、是ハ恐らく御同情ト申シマスカ、御諒解下サルト思ヒマスケレドモ、一年ノ途中ニ於テ實行豫算ヲ編成スルコトガ財務當局ニ於テ如何ニソレガ手數ナコトデアルカ、困難ナコトデアルカト云フコトヲ御推察下スツテモ宜シトイ思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、最近年々繰返シテ居ルト云フコトハ、即チ一方ニ於テソレヲナザラシメザルヲ得ナイヤウナ事情ガアルカラト云フコトヲ、能ク御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラモウ一面ニ於テ、豫算協賛ノ實ガ

クト云フコトハ私ノ希望デハナイ、寧ロ打明話デ——今ノヤウナ時ニコソ打明話デ膝ヲ交ヘテ御話シ下サル方ガ宜イ、唯其ノ場イ、私共ハ素人デスカラ、言葉ノ先デ言ヒ括メテオイデニナレバ二ノ句ガ繼ガナイノデアリマスガ、併シ御話ヲ伺ツテ居ル中ニハ多少腑ニ落チヌ點ガアリマスガ、長イコト申上ゲルト諸君ニ御迷惑ヲ掛ケルカラ言モ今ノヤウナ御説明デハ今ノ時勢ニハ通ラヌ、安イ單價デ見積ツテドウモ是デハイカ又ト云フノデ豫算ヲ提出シテ置イテ、結局單價ノ關係デ豫算ヲ減シテ行クト云フコトハ是ハドウシテモ理窟ガ通ラス、ナケレバナラヌ金ダト言ツテ御取リニナツテ、直ニナリマスト、赤字公債ナドハ相當節減シテ然ルベキデハナイカ、其ノ考ヘデオイデガ、兎ニ角私ハ決シテ歳出ダケヲ出シテ歳入ノ穴ヲ開ケテオイデナサイト申上ゲテ居ルノデハナイ、先ツ歳出定ツテ歳入之ニ應ジテ行クノガ建前デアリマセウ、ソレヲ兩方合ハス爲ニ赤字公債ト云フモノヲ御出シナツタニ付テ、私ハ是ハビツタリ合ツテ居ル方ガ宜イト思ヒマス、思ヒマスケレドモ、三億五億剩シテ行クト云フヤウナヤリ方ガイカヌノデヤアリマセヌカ、中途ニシテ實行豫算ノ切詰メガ出來ルト云フナラバ、歳出ノ方デ先ヅ御切詰ヌニナツテ、不用額ノ生ジナイヤウニ歲入ヲ合ハシテオヤリニナル方ガ

サヘ切抜ケレバ宜イト云フコトデハイケナ、私共ハ素人デスカラ、言葉ノ先デ言ヒ括メテオイデニナレバ二ノ句ガ繼ガナイノデアリマスガ、是ハ曾テ十何億圓デアツタモノガ相當長引ケバ、此ノ負擔ハ御承知ノハスダケノコトデス、言ヘバ澤山申上ゲタイコトガアル、ヤハリ單價等ノコトニ付テモ今ノヤウナ御説明デハ今ノ時勢ニハ通ラス、安イ單價デ見積ツテドウモ是デハイカ又ト云フノデ豫算ヲ提出シテ置イテ、結局單價ノ關係デ豫算ヲ減シテ行クト云フコトハ是ハドウシテモ理窟ガ通ラス、ナケレバナラヌ金ダト言ツテ御取リニナツテ、直ニナリマスト、赤字公債ナドハ相當節減シテ然ルベキデハナイカ、其ノ考ヘデオイデガ、兎ニ角私ハ決シテ歳出ダケヲ出シテ歳入ノ穴ヲ開ケテオイデナサイト申上ゲテ居ルノデハナイ、先ツ歳出定ツテ歳入之ニ應ジテ行クノガ建前デアリマセウ、ソレヲ兩方合ハス爲ニ赤字公債ト云フモノヲ御出シナツタニ付テ、私ハ是ハビツタリ合ツテ居ル方ガ宜イト思ヒマス、思ヒマスケレドモ、三億五億剩シテ行クト云フヤウナヤリ方ガイカヌノデヤアリマセヌカ、中途ニシテ實行豫算ノ切詰メガ出來ルト云フナラバ、歳出ノ方デ先ヅ御切詰ヌニナツテ、不用額ノ生ジナイヤウニ歲入ヲ合ハシテオヤリニナル方ガ

一番宜シイノデハアリマセヌカ、各省トノ關係上已ムヲ得ズ——ドウモ涙ヲ出サヌ譯ニハイカヌカラ已ムヲ得ズ斯ウ云フ數字ニハ私ハ認ヌマス、併シソコヲ鬼ニナツテ切詰ヌデオイデニナルト云フ勇氣ハアリマセスカ、斯ウ云フコトヲ一ツ最後ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、兎ニ角赤字公債ヲ今後ニ於テドウスルカト云フコトニ付テハ何等御考ヘハアリマセヌカ、ドウデスカ、建設的ニ之ヲ御尋ネスル〇廣瀬政府委員 赤字財政ヲナクスルコトニシタイト云フ希望ハ、是ハ吾々モ森サント御同様、恐ラク日本ノ國民一人トシテ之ヲ望マナイ者ハナイカト思フノデアリマス、吾々大藏省ト致シマシテモ、日夜此ノ點ニ付テハ苦心致シテ居ル次第アリマス、唯今日ノ豫算ノ立テ方ト致シマシテ、急速ニ赤字財政ガ無クナルカドウカト云フ問題ニ付テハ、相當今日ノ一般會計ト云フモノノ内容ヲ考ヘテ見ナケレバナラスト思フノデアリマス、例ヘバ先般大藏大臣カラモ御説明申上ゲマシタヤウニ、十六年度ノ一般會計ノ金額ノ増七億幾ラト云フモノノ内譯ヲアリマス、ハ軍事費ト言ヒ得ルデアリマセウ、併シソレモヤハリ一般會計デ持ツテ居ル、サウ言ツタ風ニ今日ノ一般會計ノ中ニ於テハ、相當軍事費ニ關係ノアル經費ヲ盛込ンデアル、ナウ云フ譯デアリマスノデ、是等ノ經費ガ將來ドウナルカニ依ツテ、一般會計ノ赤字ノ太サガ將來ドウナルカト云フコトガ決セラレルト思フノデアリマス、サウ云フ譯デ端的ニ申シマレバ、今直チニ私共ト致シマシテ、一般會計ノ赤字ハ急速ニ之ヲ消滅セシメ得ベシト云フコトヲ此處御答ヘスル

ト云フモノヲ圖ツテ居リマス、先般數年前トノ豫算ノ比較ノ御話ガアリマシタガ、今モノガ相當長引ケバ、此ノ負擔ハ御承知ノハズタノダトアツサリ仰シヤルナラ、又是ニハイカヌカラ已ムヲ得ズ斯ウ云フ數字ニハ私ハ認ヌマス、併シソコヲ鬼ニナツテ切詰ヌデオイデニナルト云フ勇氣ハアリマセスカ、斯ウ云フコトヲ一ツ最後ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、兎ニ角赤字公債ヲ今後ニ於テドウスルカト云フコトヲ一般會計カラ外シテ臨時軍事費ヘ持ツテ行ツタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ議論モ成立ツノデアリマスガ、併シ臨時軍事費會計ト云フモノガナクナツタ途端ニドウスルカ、結局引受ケルモノハ一般會計デナケレバナラヌカラ、今日ヤハリ一般會計デ負擔シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ恩給ノ増ガ一年ニ五千万圓モアル、是ハ何カト言ヘバ皆出征軍人ノ關係デ、普通ノ文官ノ恩給ノ増ナドト云フモノハ殆ド目ニモ止ラヌ位デアリマシテ、殆ド出征軍人關係ガ全部ト言ツテモ宜イカト思フノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナモノハ一般會計デ負擔シテ行ク、厚生省所管ノ軍人援護ニ關スル經費一億數千万圓、是モ廣イ意味ニ於テハ軍事費ト言ヒ得ルデアリマセウ、併シソレモヤハリ一般會計デ持ツテ居ル、サウ言ツタ風ニ今日ノ一般會計ノ中ニ於テハ、相當軍事費ニ關係ノアル經費ヲ盛込ンデアル、ナウ云フ譯デアリマスノデ、是等ノ經費ガ將來ドウナルカニ依ツテ、一般會計ノ赤字ノ太サガ將來ドウナルカト云フコトガ決セラレルト思フノデアリマス、サウ云フ譯デ端的ニ申シマレバ、今直チニ私共ト致シマシテ、一般會計ノ赤字ハ急速ニ之ヲ消滅セシメ得ベシト云フコトヲ此處御答ヘスル

ト云フモノヲ圖ツテ居リマス、先般數年前トノ豫備金ノ増加ト云フモノハ、結局各省

此ノ豫備金デ以テ其ノ時其ノ時ニ能ク

調査シテ出サウト云フ意味合デ、アノ豫備

金ト云フモノヲ増加シテ居ルノデアリマス、

此ノ豫備金ノ増加ト云フモノハ、結局各省

ノ歳出ノ要求ト云フモノニ對シテ削減ヲ致

シマシタ其ノ何分ノート云フモノハ、此ノ

豫備金デ以テ一應見合ヒヲ取ツテ居ル、是

ス、尙ホ其ノ外ニモ一般的ノ問題ト致シマ

シテハ、昨日カ一昨日カ申上ゲマシタヤウ

ニ、大シタ理由ナク、兎モ角モ既定經費ニ

シテ、一割乃至二割ト云フモノヲ鬼モ角モ
ヤラウデヤナイカト云フコトデ、十六年度
ノ豫算ニ於テソレヲ實現致シテ居ルト云フ
コトモ、ヤハリ其ノ歳出ヲ成ベク少クスル、
即チ赤字財政ヲ少シモ少クスルコトニ、
一步タリトモ進メヤウト云フ努力ノ一つデ
アリマス、サウ云ツタヤウナ方法ニ於テ、
徐々ニ吾々ハ此ノ財政ノ健全ヲ圖ルト云フ
コトニ付テハ、努力致シテ居ル次第デアリ
マスノデ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○森(肇)委員 御苦心ハ其ノ通リデアラウ
ト想像ハ致シマズガ、形ニ現ハレナイカラ
質問ヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、今ノ御
話ヲ伺ツテモ私ハ思ヒ浮ブコトデスガ、増
税ヲスル爲ノ法律改正ノ結果トシテ、大藏
省ニ餘計集マツテ來ル金ガアル、其ノ中カ
ラ六億幾千万圓、或ハ六億圓ト云フモノヲ
一旦大藏省ノ方ノ一般會計ニ持ツテ來テ置
イテ、是非トモ之ヲ臨時軍事費ノ方ニ御入
レニナツテ居ルノデスガ、私ハ昨年來、金
ニ變リハナノイデアルカラ、サウシナクテ
モ宜イデハナイカト申上ゲテ居ルノデアリ
マスガ、之ヲ元ニ御戻シニナツテ、一般會
計ノ方ニ總テア入レ、ソレヲ一般會計ノ財
公債ナンテ言ハナル、所謂通り抜ケ豫算ヲ作
ラナイデ置イテ、サウシテドウセ同ジコト
ダカラ、臨時軍事費モ必要ナルモノハ赤字
源ニ御充テニナル、所謂通り抜ケ豫算ヲ作
ラナイデ置イテ、サウシテドウセ同ジコト
ダカラ、臨時軍事費モ必要ナルモノハ赤字
公債ナンテ言ハナル、其ノ部分ダケヲ臨
時軍事費ノ特別公債ノ方ニ御取リニナル、斯
ウシタ方ガ傍デ見ル國民ノ眼カラ非常ニハ
強ヒテ一般會計ニ入レテ、素通リサセテ向

フヘ持ツテ行ク、殆ド是ハ雀ノ涙程ノ小サ
イ金デス、全體カラ云ヘバ或ハアツテモナ
クテモ殆ド響カヌ、軍事費ノ費用ト云フモ
ノハドウセ要ルンダ、其ノ二度手間ノ要ル
コトヲオヤリニナラナイデ、サウシテ一般
會計ノ建前ヲチヤント御立テニナツテ、幾
ラ一般會計ノ仕事ノ範圍ニ於テ赤字ガ出テ
來ルカト云フコトヲ能ク御覽下スツタ方ガ
宣シイノデハナイカ、之ヲ強ヒテ租稅トシ
テ取立テ居ル、臨時軍事費ノ關係デ初メ
カラ稅ヲ徵シタ、租稅增徵ノ意味デ取ツタ
金ダカラ、臨時軍事費ニ持ツテ行クノダ
ト云フ形ヲ御取リニナラヌデモ、同ジ臺所
ノコトダカラ宣シイノデハナイカト私ハ考
ヘルノデアリマスガ、是非トモ初メノ方針
ヲ踏襲シテオヤリニナル理由ハ何處ニアリ
マスカ

○森(肇)委員 今日ノ此ノ席ハ私ノ意見ヲ
申述べテ居ルヤウナ形デ、是ガ議會ノ多數
ノ希望ガ一致シテ居ルト云フヤウナ意味
デハアリマセヌカラ、其ノ意味デ御聽取リ
願ヒマスガ、私共ハ御話ノ通リグラウト想
像スル、其ノ點ハ想像致シマスガ、第二ノ
外地ノ關係ハ暫ク之ヲ措キマシテ、國民ニ
向ツテ臨時軍事費ノ財源ノ爲ニ、此ノ金ヲ
取ルノダト云フコトヲ言ツテ取り始メタ稅
金ダカラ、強ヒテ之ヲ向フニ移サケレバ
ナラヌト云フコトハ、モウ私ハ御考慮ニ
ナル必要ハ無イノデハナイカ、皆様方が御
心配ニナルヨリモ、國民ハモット先ノ方ヲ心
配シテ居リマス、ソンナ小サイ去年ヤ一昨年
ノ言掛リニ四ハレテ云々シヨウト云フ氣持ヘ
國民ニハアリマセヌヨ、御心配ニナルノハ政
府バカリダ、國民ノ方ハモウ疾ニ戰時體制
ニ變ツテ、命ヲ捨テ居ルノデアリマスカラ
、ソンナ金ノヤウナコトハ考ヘテ居リマ
セヌ、ソシナコトヲ言ハナイデ、ヤハリ筋
ヲ御立テニナル方ガ宜シイノデハナイカ、
私ハ所謂建設的意見トシテ政府ニ忠告スル
ナラバ、斯ウ申上ゲタイ、兎ニ角豫算ノ建
前ソレ自體ガ、私共ノヤウニ十年議會ニ
居ツテモ、實ハ豫算ヲ見テモ分リマセヌ、
況ヤ初メテ出ラレタ人ナドニハ逆モ分ラナ
イ、分ラナイヤウニ作ツテアルノガ豫算ダ
ト云フヤウナ、世間ノ風評ガアルヤウナ作
リ方ヲシテ居ル、其ノ上ニ臨時軍事費ト混
ト、五十何億、六十億、ソレニ臨時軍事費
ヲ入レテ九十何億、イヤ百五億、其ノ中通
リ抜ケ六億ダケヲ引カナケレバ本當ノ數字
ガ出ナイ、特別會計ハドウダ、特別會計ヲ

入レルト二百億近イヤウナ大キナ金が出ル、是デ本當デスカト言フト、純計ガ出テ居リマセヌカラ、純計ヲ出シマスト百五十億、百六十億ダト言フ、何度モ組替ヘテ見ナケレバ、一體日本ノ豫算ノ姿ト云フモノガ分ラナイ、外國ニハ例ガアリマセウガ、私ハ外國ハ知リマセヌカラ問ハナイケレドモ、モウ少シハツキリシタ豫算ニシテ國民ニ見セテ戴カナケレバナラヌト思フ、此ノ時ニ、今ノヤウナ六億ナラ六億ト云フ大キイナクテモ宜イノデハナイカ、少クモ昭和十七年度ノ豫算ノ編成マデニハ好イ建前ヲ御研究ニナツテ、出來ルダケ赤字公債ト云フモノヲナクスルヤウニシタ方ガ、國民ヲ納得セシムルニ宜イト思ヒマス、私ノ意見トシテ申上ゲマス、斯ウ云フ意味デ御尋ネシシテ申上ゲマス、斯ウ云フ意味デ御尋ネシテ居ルノ通リデアリマセウ、併シ遠カラザル將來ニ於テ、出來ルモノナラバ赤字ナドト云ナクスルト云フ譯ニハ行カヌ、苦心シテ居ルト云フコトニ對シテハ御同情申上ゲル、其ノ通リデアリマセウ、併シ遠カラザル將來ニ於テ、出來ルモノナラバ赤字ナドト云フ斯ウ云フ、公債ヲ發行シナケレバナラヌヤウナ一般會計ノ財政状態デナイヤウニ、御建直シ下サランコトヲ私ハ希望スル、サウ云フ關係カラ言ヘバ、各省ノ要求ニ對シテモ思ヒ切ツタ大鉈ヲ御加ヘニナリ、必要シンドン御切りニナツテ正シイ豫算ニ御作リニナリ、必ズシモサウ急ヲ要せザルモノハ、シテココ遠カラザル將來ニ於テハ、赤字公債ナドト云フモノノ審議ヲナサナクテモ宣イ時代ガ到來スルコトヲ私ハ切望致シマ

ス、私ノ御尋ネスルコトハ是デ一應打切り
タイト思ヒマス、私ハ別ニ何等惡意ヲ以テ
申上ゲテ居ルノデハアリマセヌ、アナタ方
ノ今後其ノ決意ヲ以テ御進ミニナルコト
ヲ、後ロカラ尻押シフシテ差上ガタイト思
フ、一ツノ老婆心カラデアリマセス、大藏省
トシテハ私ト御同感ノ點ガ相當アルト思
フ、アツテ餘儀ナク豫算編成ノ際ニハ、丁
度藤井サンノヤウニ、無理ヲシテ單價ヲ切
ラナケレバナラヌヤウナコトヲヤツテサヘ
モ通ラナカツタノデ、私ハ其ノ御困リノコ
トハ能ク分リマスケレドモ、ソレヲヤラナ
ケレバ日本ノ豫算ノ姿ガ單衣ノ姿ニナリマ
セヌ、日本ノ豫算ハ綿入ニ綿入ヲ重ネテ着
テ居ルノデ、何處ニドレダケアルカ分ラナ
イ、ソレドウズ遠カラザル將來ニ單衣ノ
豫算ニ御作リ立テニナツテ、赤字ノ紋ヲ御
取り下サルヤウニ切ニ希望致シマシテ、私
ノ質問ハ打切りマス

○松田委員長 星君
○星委員 私モ大藏省ニ大キナ責任ヲ持ツ
テ貰ヒタイト云フコトカラ、一言御尋ネシ
テ見タイト思ヒマス、今森委員ノ言ツタヤ
ウニ、二ツニ割ツテ貰ツテ、臨時ノ戰費
ハ公債ダガ、一般費ハ獨立シテ居ルト云フ
アリマス、併シ今肇國以來ノ來ルベキモノ
ニ到着シタノデスカラ、何トシテモ之ヲ突
ニアルト思ヒマスカラ……唯公債發行ノ將
來ニ對シテ、大藏省ガドウ考ヘテ居ラルル

カ、元來豫算ハ一年コツキリノコトデアリ
マスカラ、先ノコトハ分ラスト言ヘバソレ
デモ宜イノデアリマスガ、併シ公債發行ノ
將來デアリマス、十年、二十年モ續ケテ行
クニハドウナルコト云フコトヲオ聽キシタ
イノデス、ソレカラ時間ノ節約上併セテ伺
ヒマスガ、日本銀行ノ紙幣發行額ハ、本年
ノ末ニハ少クトモ六十五億ヤ七十億以上ニ
ナリハセヌカト、事變以來ノ年度末ニ徵シ
テサウ思ヒマスガ、是ハドウ御考ヘデアル
カ、此ノニツヲ御尋ネシタイト思ヒマス
○廣瀬政府委員 第一點ノ御尋ネハ、將來
ニ於ケル公債ノ發行ノ見込ヲドウ考ヘテ居
ルカト云フ御尋ネノヤウデアリマス、是ハ
先程カラ森サンノ御尋ネニ對シテ御答ヘシ
タコトト、大體關聯シテ居ルト思フノデア
リマスガ、要スルニ先ツ第一番ニ事變ト云
フモノガドウナルコトニ關係ガアル
ルト思ヒマス、ソレカラ先程大體森サンノ
御考ヘハ、事變費ト云フモノト一般會計ノ
經費ト云フモノトガ、截然區別ガアルト云
ツタヤウナ前提デ色々御話ガアツタヤウニ
思ヒマスガ、實際豫算ヲ扱ツテ居リマス私
共カラ申シマスレバ、今日一般會計ノ中ノ
色々ノ經費、其ノ大部分ト云フモノハ事變ニ
關係ノアル經費デス、隨テ事變ト云フモノ
ノ動キ方次ニ依ツテハ、一般會計ノ豫算
モヤハリ收縮——詰リ事變方片付ケバ收縮
スルト申シマスカ、サウ云ツタヤウナコト
ガアリ得ルト思ヒマス、サウ云フ意味合ニ
於テ此ノ一般會計、軍事費關係兩方面ノ國
債ノ發行見込ト云フモノハ、今日簡單ニ豫
言的ニハ申シ得難イト思ツテ居リマス、唯
此ノ際公債發行ガ假リニ今後ニ於テ相當期
間繼續スル、或ハ増額スルト云フコトガア

リマシテモ、是ハ今日ノ事變ノ性質其ノ
モノガ、日滿支ヲ中心ニ致シマシテ、東亞
ニ大共榮圈ト云フモノヲ建設ヲ致シテ居ル
カヌト云フコトデス、統制經濟ニ依ツテ物
ト云フ方面カラ考ヘマシテ、此ノ公債ガ或
ル程度繼續サレルコトガアリマシテモ、私
ハ日本ト致シマシテ、ソレヲソンナニ悲觀
スペキモノデハナイト云フ風ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス、次ニ日本銀行券ノ將來ノ
増加ノ見込ハドウカト云フ御尋ネデアツタ
ト思フノデアリマスガ、日本銀行兌換券ノ發
行ニ付キマシテハ、不日改正案ヲ提出致シ
マシテ御審議ヲ願フコトニナラウカト思ヒ
マス、其ノ際ニ色々申上ゲルダラウト思ヒ
マスガ、只今何十億ニナルダラウト云フ御
見込ノ御話モアリマシタガ、私ハ必ズシ
モ今日ニ於テ此ノ年末ノ發行額ノ見込ヲ立
テテ居ル譯デハアリマセヌガ、是モ色々ナ
經濟取引ノ形態が變ツテ來タト云ツタヤウ
ナコト、或ハ經濟活動ガ增加シタト云ツタ
ヤウナ、色々ナ點カラ考ヘマシテ、或ル程
度ノ增加ハアリマシテモ、吾々ハソレヲ非
常ニ懸念スル程ノコトデハアルマイト考ヘ
テ居リマス

○星委員 公債ノコトニ付テ私ガ聽キマシ
タコトハ、假令事變ガ處理サレマシテモ、公
債發行ハ相當額マニ續ケテ行カナケレバナ
ラナイト私ハ思ツテ居リマス、又國民一般モサ
ウ云フヤウナコトニ行キタイト希望スルデ
アリマス、併シ今肇國以來ノ來ルベキモノ
ニ到着シタノデスカラ、何トシテモ之ヲ突
ニアルト思ヒマスカラ……唯公債發行ノ將
來ニ對シテ、大藏省ガドウ考ヘテ居ラルル
カヌト云フコトデアリマスガ、是ハ今日ノ事
變ノ性質其ノモノガ、日滿支ヲ中心ニ致シマ
シテ、東亞ニ大共榮圈ト云フモノヲ建設ヲ致
シテ居ルコトガアリマス、ソレカラ時間ノ節
約上併セテ伺ヒマスガ、日本銀行ノ紙幣發行
額ハ日本ト致シマシテ、ソレヲソンナニ悲觀
スペキモノデハナイト云フ風ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス、次ニ日本銀行券ノ將來ノ
増加ノ見込ハドウカト云フ御尋ネデアツタ
ト思フノデアリマスガ、日本銀行兌換券ノ發
行ニ付キマシテハ、不日改正案ヲ提出致シ
マシテ御審議ヲ願フコトニナラウカト思ヒ
マス、其ノ際ニ色々申上ゲルダラウト思ヒ
マスガ、只今何十億ニナルダラウト云フ御
見込ノ御話モアリマシタガ、私ハ必ズシ
モ今日ニ於テ此ノ年末ノ發行額ノ見込ヲ立
テテ居ル譯デハアリマセヌガ、是モ色々ナ
經濟取引ノ形態が變ツテ來タト云ツタヤウ
ナコト、或ハ經濟活動ガ增加シタト云ツタ
ヤウナ、色々ナ點カラ考ヘマシテ、或ル程
度ノ增加ハアリマシテモ、吾々ハソレヲ非
常ニ懸念スル程ノコトデハアルマイト考ヘ
テ居リマス

「セント」ノ無利息ノ切手ヲ發行シ、小學
校ノ生徒ニ買ハシテ、ソレヲ紙ニ貼ツテ、
三十八枚カト思ヒマスガ、ソレト幾年後カ
拂フ十「ドル」ノ公債ト取換ヘルコトニシタ、
サウ云フコトデ小學校ノ生徒ダケデ一箇年
ニ十億「ドル」ノ公債ヲ消化シマシタ、今日
日本デハ郵便貯金ヲ獎勵シマス、其ノ金デ
公債ヲ買フト云フコトデアリマスカラ、是
ハ間接デゴザイマス、小學校ノ生徒ニサウ
云フ切手ヲ買ハシテ公債ニ換へ、公債ヲ持
タセルコトガ公債消化ニモナリ、又教育上
ニ思ツテ居ルト思ヒマス赤字ガナクナツタ
コト、必ズシモ日本ニ幸福ト言フコトハ出來
マセヌ、若シ赤字ノナイノヲ希望スルナラバ、
スマイ、唯事變ガ處理サレテモ、公債發行ハ
必要ナコトデアラウト思フ、私ハ嘗テ豫算
委員會ニ於テモソレヲ質疑シタコトガアリ
マスガ、大藏省ヘ之ヲ考ヘテ居ルカドウカ伺
ヒタイ、尙ホ五六年前「アメリカ」ニ行ツタ時
代アリマスガ、「アメリカ」ハ平時デアリマ

ス、其ノ平時ニ於テ、州ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、或ル州ニ行キマスト五十「セント」以上ノモノヲ買フト稅ヲ取リマス、停車場デ繪葉書ヲ買ツテモソレニ稅ヲ課ケマス、或ル洲デハ一「ドル」以上ニ稅ヲ課ケマス、芋ト買ハウト「バタ」ヲ買ハウト何デモ取リマス、其ノ稅ヲ取ル爲ニ「アメリカ」ニハ一「セント」ノ銅貨ガアリマスガ、其ノ一「セント」ノ十分ノ一ノ紙ノ貨幣代リノモノヲ發行シテマデ、稅ヲ取ツテ居ル所モアルノデアリマス、ソコデ私ハ現在ハ斯ウ云フコトモアリマスケレドモ、現ニ或ル意味ニ於テ日本デヤツタラ宣イノヂヤナイカト思ヒマス、サウスルトソレハ下級民ニ負擔ヲ與ヘルコトダカラ宜クナイト、反対ヲスル者モアリマスケレドモ、現ニ或ル意味ニ於テ社會主義的ニ發達シテ居ル「アメリカ」ニ於テスラヤツテ居ル、是モ私ハ考ヘテ頂戴シタイト思ヒマス、日本人ニハ犠牲心ガアル、此ノ犠牲ハ生命身體ニ犠牲ヲ拂ハシテ、物ニハ犠牲ヲ拂ハセナイヤウナ仕組ミニ、日本ノ法律ハ出來テ居ルヤウニ思ヒマス、ソレハ日本ノ刑法ヲ見ルト分リマス、刑法ハ何時デモ體刑ニ重ク、罰金ニ輕イノデアリマス、之ニ依ツモ犠牲ト云フ上ニ於テ、日本ガ生命身體ニ重ク、物ニ輕イコトガ分コトデアリマスカラ、既ニ御考ヘニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ二ツノコトニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○廣瀬政府委員 第一ノ御質問ノ無利息ノ切手發行ト申シマスカ、是ハ御承知ノヤウニ我國ニ於キマシテモ、以前ニ於キマシテハ切手貯金ト云フモノヲヤツテ居ツタノデル、是ガアリマスガ、其ノ稅ヲ買フモト云フモトテ居ルトコトヲ、是ハ斯ウ云ツタモノガアリマス、ソレハ直接稅ヲ課ケルカト云フ問題ガ、今後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

次ニ外國ニ於ケル賣上稅ノ御話ガアリマシタ、日本デモサウ云ツタモノヲヤツタラドウカト云フ御話ノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、是ハ星サンモ既ニ御承知ダラウト思ヒマスケレドモ、我國ニ於キマシテモ、贍澤品ニ付キマシテハ物品稅ト云フモノヲ課ケテ居リマス、十六年度ノ見込額ダケデル、今日吾々ハ物ノ犠牲モシナケレバナラナイ時デアリマスカラ、此ノコトモ大藏省ノ御考ヘヲ願ヒタク、賢明ナル大藏省ノコトデアリマスカラ、既ニ御考ヘニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ二ツノコトニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○星委員 今ノ切手ノ話デアリマスガ、私ハ此ノ切手デ直接公債ト換ヘルナラ、ソレガ所謂小學校生徒ニ對スル教育ニナル、ダカラ約八千万圓ノ收入ヲ見込ンデ居リマス、ソレカラ遊興飲食稅ガ九千二百万圓、通行稅ガ二十四百万圓、入場稅ガ二千二百万圓ト云フ風ニ、相當細カイ所ノ稅金ヲ取ツテ居ル譯デアリマス、唯稅ノ取り方ガ先程御話育スルコトハ出來マセヌ、親切ニスレバド

アリマスガ、先年之ヲ廢止致シマシテ、今日ハ實行政シテ居リマセヌ、之ヲ斯ウ云フ事變ノ際ニ於テ復活シテヤルベキカ否カト云フ問題ニ付キマシテハ、政府部内ニ於テハ、事變以來多年懸案トシテ研究致シテ參

ツテ居リマス、是ガ今日マデ復活致シマセヌ理由ハ、割合ニ手數ガ掛ル、ソレカラ間違ヒガ起り易イ、ト申シマスノハ、切手ヲ貼ルノデアリマスガ、其ノ切手ガ本當ニ金ヲ拂ツタ切手バカリデナシニ、ドウモインチキナ切手ガ時々入ツテ來ル、サウスルト郵便局ニ於テハソレヲ受取ツテ愈、貯金トシテ扱ヒマス時ニ、始終其ノ間ニ閑着ガ起ルヤウナコトガアルト云フコトデ、詰リ勞ノ割合ニ效ガ少ナイト云ツタヤウナコトカラ、今日ガラ事變ノ進展モニ至ツタノデアリマスノデ、最近ニ於テ政府ハ更ニ此ノ問題ヲ如何ニシテ處理スペキカトニ付テ、目下考慮中デアリマス、本日ハ此ノ問題ニ付キマシテは以上申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、或ハ後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

ニナリマシタヤウニ、物ノ代金ニ「プラス」外ノ貨幣ト申シマスカ、貨幣類似ノモノデアルカモ知レマセヌガ、サウ云ツタモノデ拂フト云フコトヲ致シマセヌデ、恐ラク稅込デ入場料ヲ決メルト云フヤウナコトヲ致シマスノデ、大衆ノ間ニ於テ、ソレガドノ程度ガ稅デアリ、ドレガ本當ノ値段、アルカト云フコトガ分ラス狀態デ徵收サレテ居ルカト思フノデアリマスガ、相當廣範圍ニ亘ツテ斯ウ云ツタヤウナモノガアリマス、ソレニ加ヘマシテ事變前カラ御承知ノ如クニ我ガ國ハ間接稅、例ヘバ酒デアリマストカ、織物、砂糖等ニ付テ、可ナリ直接稅以外ニウカシテ時局ヲモット強ク認識サシテ、本ガラ切手ガ時々入ツテ來ル、サウスルト郵便局ニ於テハソレヲ受取ツテ愈、貯金トシテ扱ヒマス時ニ、始終其ノ間ニ閑着ガ起ルヤウナコトガアルト云フコトデ、詰リ勞ノ割合ニ效ガ少ナイト云ツタヤウナコトカラ、今日ガラ事變ノ進展モニ至ツタノデアリマスノデ、最近ニ於テ政府ハ更ニ此ノ問題ヲ如何ニシテ處理スペキカトニ付テ、目下考慮中デアリマス、本日ハ此ノ問題ニ付キマシテは以上申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、或ハ後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

ニナリマシタヤウニ、物ノ代金ニ「プラス」外ノ貨幣ト申シマスカ、貨幣類似ノモノデアルカモ知レマセヌガ、サウ云ツタモノデ拂フト云フコトヲ致シマセヌデ、恐ラク稅込デ入場料ヲ決メルト云フヤウナコトヲ致シマスノデ、大衆ノ間ニ於テ、ソレガドノ程度ガ稅デアリ、ドレガ本當ノ値段、アルカト云フコトガ分ラス狀態デ徵收サレテ居ルカト思フノデアリマスガ、相當廣範圍ニ亘ツテ斯ウ云ツタヤウナモノガアリマス、ソレニ加ヘマシテ事變前カラ御承知ノ如クニ我ガ國ハ間接稅、例ヘバ酒デアリマストカ、織物、砂糖等ニ付テ、可ナリ直接稅以外ニウカシテ時局ヲモット強ク認識サシテ、本ガラ切手ガ時々入ツテ來ル、サウスルト郵便局ニ於テハソレヲ受取ツテ愈、貯金トシテ扱ヒマス時ニ、始終其ノ間ニ閑着ガ起ルヤウナコトガアルト云フコトデ、詰リ勞ノ割合ニ效ガ少ナイト云ツタヤウナコトカラ、今日ガラ事變ノ進展モニ至ツタノデアリマスノデ、最近ニ於テ政府ハ更ニ此ノ問題ヲ如何ニシテ處理スペキカトニ付テ、目下考慮中デアリマス、本日ハ此ノ問題ニ付キマシテは以上申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、或ハ後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

ニナリマシタヤウニ、物ノ代金ニ「プラス」外ノ貨幣ト申シマスカ、貨幣類似ノモノデアルカモ知レマセヌガ、サウ云ツタモノデ拂フト云フコトヲ致シマセヌデ、恐ラク稅込デ入場料ヲ決メルト云フヤウナコトヲ致シマスノデ、大衆ノ間ニ於テ、ソレガドノ程度ガ稅デアリ、ドレガ本當ノ値段、アルカト云フコトガ分ラス狀態デ徵收サレテ居ルカト思フノデアリマスガ、相當廣範圍ニ亘ツテ斯ウ云ツタヤウナモノガアリマス、ソレニ加ヘマシテ事變前カラ御承知ノ如クニ我ガ國ハ間接稅、例ヘバ酒デアリマストカ、織物、砂糖等ニ付テ、可ナリ直接稅以外ニウカシテ時局ヲモット強ク認識サシテ、本ガラ切手ガ時々入ツテ來ル、サウスルト郵便局ニ於テハソレヲ受取ツテ愈、貯金トシテ扱ヒマス時ニ、始終其ノ間ニ閑着ガ起ルヤウナコトガアルト云フコトデ、詰リ勞ノ割合ニ效ガ少ナイト云ツタヤウナコトカラ、今日ガラ事變ノ進展モニ至ツタノデアリマスノデ、最近ニ於テ政府ハ更ニ此ノ問題ヲ如何ニシテ處理スペキカトニ付テ、目下考慮中デアリマス、本日ハ此ノ問題ニ付キマシテは以上申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、或ハ後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

ニナリマシタヤウニ、物ノ代金ニ「プラス」外ノ貨幣ト申シマスカ、貨幣類似ノモノデアルカモ知レマセヌガ、サウ云ツタモノデ拂フト云フコトヲ致シマセヌデ、恐ラク稅込デ入場料ヲ決メルト云フヤウナコトヲ致シマスノデ、大衆ノ間ニ於テ、ソレガドノ程度ガ稅デアリ、ドレガ本當ノ値段、アルカト云フコトガ分ラス狀態デ徵收サレテ居ルカト思フノデアリマスガ、相當廣範圍ニ亘ツテ斯ウ云ツタヤウナモノガアリマス、ソレニ加ヘマシテ事變前カラ御承知ノ如クニ我ガ國ハ間接稅、例ヘバ酒デアリマストカ、織物、砂糖等ニ付テ、可ナリ直接稅以外ニウカシテ時局ヲモット強ク認識サシテ、本ガラ切手ガ時々入ツテ來ル、サウスルト郵便局ニ於テハソレヲ受取ツテ愈、貯金トシテ扱ヒマス時ニ、始終其ノ間ニ閑着ガ起ルヤウナコトガアルト云フコトデ、詰リ勞ノ割合ニ效ガ少ナイト云ツタヤウナコトカラ、今日ガラ事變ノ進展モニ至ツタノデアリマスノデ、最近ニ於テ政府ハ更ニ此ノ問題ヲ如何ニシテ處理スペキカトニ付テ、目下考慮中デアリマス、本日ハ此ノ問題ニ付キマシテは以上申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、或ハ後日更ニ申上ゲル機會ガアルカトモ思ヒマス

ヤツテ居ツタ、世界ノ人類ハ皆人ト物トヲ豫算ニ入レテ來タ時代ガアリマス、斯ウ云フ大キナ家族主義ノ上ニ立ツテ居ル此ノ日本ニ出來ヌ譯ハナイト信ジテ居リマス、是ハ今マデモ御願ヒシタノデスガ、尙ホ研究シテ頂戴シタイ、サウシテ世界ニ誇ルヤウナ豫算ヲ作ツテ貴ヒタイ、是カラドウシタツテ支那ヘ行ク、佛印ヘ行ク、其ノ他へ行ク、サウシテ豫算ハ人ト物トヲ歳入ニシ、更ニ之ヲ歳出ニ計算スル豫算デナケレバ、私ハ早ク吾々ノ理想トスル新秩序ヲ建設スルコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、之ヲ御願ヒスルノデアリマス、結局物ノ方カラ云フト、大藏省ガ元締テアリマス、精神的ノ方ハ文部省ガ元デアルトシテモ、大藏省ガ本當ニ此ノ元締ノ責任ヲ自覺シテ、之ヲ發揮シテ欲シトイ云フコトデアリマス、是ハモウチヨツシタ事デアリマス、例ヘバ東京ノ町ニ於テ道路ヲ今改修シテ居リマス、其ノ道路ノ改修ニ、僅カ二十人ノ人夫ヲ掛ケタナラバ、其ノ道路ガ完成スルト云ノガ、一箇月モ一箇月半モ長引イテ居リマス、ソレガ爲ニ二町位廻ルヤウナコトガアリマス、之ニ費ス「ガソリン」ヲ思フノデアリマス、其ノ二十人ノ人夫ヲ早ク使ツテ完成スレバ、夜晝消費スル「ガソリン」、又自轉車ニ乗ル人、歩ク人ノ時間ノ上ニモ大キイモノダト思ヒマス、所ガ斯ウ云フモノヲ見テ、斯ウシタラ宜イト言フ人ガ何處ニアルノカ、日本ハ家族主義ノ國ダト言フケレドモ、役所ノヤツテ居ルコトハ、昨日言ウタ如ク、全ク日本ノ役所デハナイヤウナ、皆バラ／＼ナ、外國ノ役所ノ寄合ヒノヤウナモノニ私ニ見エテナリマセヌ、小サイコトデスガ、是ハ大藏省ノ人ガ注意ヲ拂フノ

ガ、私ハ一番宜イグラウト思ヒマス、又大藏省ハ金ニ關係スル、隨ツテ生活ニ大キナ責任ノアル所デスシ、是カラ公債ハウント續ケテ行カナケレバナリマセヌ、又續ケル覺悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス公債ガ先ニナツテ減ルナント思フコトナラバ、ソレハ世界ノ歴史ヲ知ラヌ、日本ノ使命ヲ知ラナイ人ノ考デアリマセウ、公債ハ殖エテ行ク、併シ殖エテモ吾々ハ樂ニ行ケルコトガ幾ラデモアラウト思ヒマス、ソコデーツ大藏省ニ御願ヒシタイ、此ノ赤字ノコトハ幾ラ言合ツテモ際限ノナイコトダト思ヒマス、ダカラ吾々ハ赤字ヲ負擔シテ行ケル強イモノニシテ貴ヒタイ、又負擔シテ行クノガ吾々ノ使命デアル、負擔スルカラ日本ガ伸ビルノダ、之ヲ負擔シナカツタラ伸ビナインダト云フヤウナ教育ヲシツツ、公債ヲ賣ツテ貴ヒタイ、サウスレバ皆ガ喜ンデ公債ヲ買ヒマス、心配ナド一ツモシナイデ行ケルト思ヒマス、日本ハ過去ニ於テ歐米ノ所謂自由主義資本主義ニ浮カサレタト云フコトデアリマシテ、是正シナケレバナリマセヌ、然ルニ今申シタヤウニ、日本ノ刑法ヲ見テモ是正スペキモノガアラウト思ヒマス、ドウゾ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、物ト人トヲ豫算ニスルコトハ、今御返事ヲ伺フコトガ出來マセヌデモ、是ハ必ズナシ遂ゲ得ルコトデス、日本ガソレヲヤツテ世界ニ示シテ貴イタイノデス、少クモ東亞ニ於テハ人ト物トヲ歳入ニシ、歳出ニシ、サウシテ次官ノ言フヤウナ「バランス」ノ取れる豫算ノ編成ガ出來ル筈デアリマスカラ、之ヲ御願ヒシマシテ私ノ質疑ヲ終リマス○廣瀬政府委員 今人ト物トヲ加ヘタ豫算

アリマシタガ、御意見ノ點御同感ノ點モ相應アルノデアリマス、此ノ人ト物トヲ豫算任ノアル所デスシ、是カラ公債ハウント續ケテ行カナケレバナリマセヌ、又續ケル覺悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス公債ガ先ニナツテ減ルナント思フコトナラバ、ソレハ世界ノ歴史ヲ知ラヌ、日本ノ使命ヲ知ラナイ人ノ考デアリマセウ、公債ハ殖エテ行ク、併シ殖エテモ吾々ハ樂ニ行ケルコトガ幾ラデモアラウト思ヒマス、ソコデーツ大藏省ニ御願ヒシタイ、此ノ赤字ノコトハ幾ラ言合ツテモ際限ノナイコトダト思ヒマス、ダカラ吾々ハ赤字ヲ負擔シテ行ケル強イモノニシテ貴ヒタイ、又負擔シテ行クノガ吾々ノ使命デアル、負擔スルカラ日本ガ伸ビルノダ、之ヲ負擔シナカツタラ伸ビナインダト云フヤウナ教育ヲシツツ、公債ヲ賣ツテ貴ヒタイ、サウスレバ皆ガ喜ンデ公債ヲ買ヒマス、心配ナド一ツモシナイデ行ケルト思ヒマス、日本ハ過去ニ於テ歐米ノ所謂自由主義資本主義ニ浮カサレタト云フコトデアリマシテ、是正シナケレバナリマセヌ、然ルニ今申シタヤウニ、日本ノ刑法ヲ見テモ是正スペキモノガアラウト思ヒマス、ドウゾ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、物ト人トヲ豫算ニスルコトハ、今御返事ヲ伺フコトガ出來マセヌデモ、是ハ必ズナシ遂ゲ得ルコトデス、日本ガソレヲヤツテ世界ニ示シテ貴イタイノデス、少クモ東亞ニ於テハ人ト物トヲ歳入ニシ、歳出ニシ、サウシテ次官ノ言フヤウナ「バランス」ノ取れる豫算ノ編成ガ出來ル筈デアリマスカラ、之ヲ御願ヒシマシテ私ノ質疑ヲ終リマス○廣瀬政府委員 今人ト物トヲ加ヘタ豫算

アリマシタガ、御意見ノ點御同感ノ點モ相應アルノデアリマス、此ノ人ト物トヲ豫算任ノアル所デスシ、是カラ公債ハウント續ケテ行カナケレバナリマセヌ、又續ケル覺悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス公債ガ先ニナツテ減ルナント思フコトナラバ、ソレハ世界ノ歴史ヲ知ラヌ、日本ノ使命ヲ知ラナイ人ノ考デアリマセウ、公債ハ殖エテ行ク、併シ殖エテモ吾々ハ樂ニ行ケルコトガ幾ラデモアラウト思ヒマス、ソコデーツ大藏省ニ御願ヒシタイ、此ノ赤字ノコトハ幾ラ言合ツテモ際限ノナイコトダト思ヒマス、ダカラ吾々ハ赤字ヲ負擔シテ行ケル強イモノニシテ貴ヒタイ、又負擔シテ行クノガ吾々ノ使命デアル、負擔スルカラ日本ガ伸ビルノダ、之ヲ負擔シナカツタラ伸ビナインダト云フヤウナ教育ヲシツツ、公債ヲ賣ツテ貴ヒタイ、サウスレバ皆ガ喜ンデ公債ヲ買ヒマス、心配ナド一ツモシナイデ行ケルト思ヒマス、日本ハ過去ニ於テ歐米ノ所謂自由主義資本主義ニ浮カサレタト云フコトデアリマシテ、是正シナケレバナリマセヌ、然ルニ今申シタヤウニ、日本ノ刑法ヲ見テモ是正スペキモノガアラウト思ヒマス、ドウゾ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、物ト人トヲ豫算ニスルコトハ、今御返事ヲ伺フコトガ出來マセヌデモ、是ハ必ズナシ遂ゲ得ルコトデス、日本ガソレヲヤツテ世界ニ示シテ貴イタイノデス、少クモ東亞ニ於テハ人ト物トヲ歳入ニシ、歳出ニシ、サウシテ次官ノ言フヤウナ「バランス」ノ取れる豫算ノ編成ガ出來ル筈デアリマスカラ、之ヲ御願ヒシマシテ私ノ質疑ヲ終リマス○廣瀬政府委員 今人ト物トヲ加ヘタ豫算

アリマシタガ、御意見ノ點御同感ノ點モ相應アルノデアリマス、此ノ人ト物トヲ豫算任ノアル所デスシ、是カラ公債ハウント續ケテ行カナケレバナリマセヌ、又續ケル覺悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス悟ヲ今カラ持タナケレバナラスト思ヒマス公債ガ先ニナツテ減ルナント思フコトナラバ、ソレハ世界ノ歴史ヲ知ラヌ、日本ノ使命ヲ知ラナイ人ノ考デアリマセウ、公債ハ殖エテ行ク、併シ殖エテモ吾々ハ樂ニ行ケルコトガ幾ラデモアラウト思ヒマス、ソコデーツ大藏省ニ御願ヒシタイ、此ノ赤字ノコトハ幾ラ言合ツテモ際限ノナイコトダト思ヒマス、ダカラ吾々ハ赤字ヲ負擔シテ行ケル強イモノニシテ貴ヒタイ、又負擔シテ行クノガ吾々ノ使命デアル、負擔スルカラ日本ガ伸ビルノダ、之ヲ負擔シナカツタラ伸ビナインダト云フヤウナ教育ヲシツツ、公債ヲ賣ツテ貴ヒタイ、サウスレバ皆ガ喜ンデ公債ヲ買ヒマス、心配ナド一ツモシナイデ行ケルト思ヒマス、日本ハ過去ニ於テ歐米ノ所謂自由主義資本主義ニ浮カサレタト云フコトデアリマシテ、是正シナケレバナリマセヌ、然ルニ今申シタヤウニ、日本ノ刑法ヲ見テモ是正スペキモノガアラウト思ヒマス、ドウゾ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、物ト人トヲ豫算ニスルコトハ、今御返事ヲ伺フコトガ出來マセヌデモ、是ハ必ズナシ遂ゲ得ルコトデス、日本ガソレヲヤツテ世界ニ示シテ貴イタイノデス、少クモ東亞ニ於テハ人ト物トヲ歳入ニシ、歳出ニシ、サウシテ次官ノ言フヤウナ「バランス」ノ取れる豫算ノ編成ガ出來ル筈デアリマスカラ、之ヲ御願ヒシマシテ私ノ質疑ヲ終リマス○廣瀬政府委員 今人ト物トヲ加ヘタ豫算

總テ人間ヲ使ヒマス、話ノ便宜上此處デハ假リニ日給一圓トシマス、一圓ノ日給ヲ拂ハナケレバナラヌ時ニ、二十錢ハ食費トシテ現金デ拂ツテ、アトノ八十錢ハ切手デ拂ヒマス、其ノ拂ツタ切手ハ來年カラ、或ル所ハ二年後、三年後デ宜イデセウ、最初ハ來年カラ其ノ八十錢ハ租稅支拂ニ流用スルコトニスルコトガ出來マス、併シ全部ソレヲ一度ニ租稅ニ使フ譯ニハ行キマセヌ、ダカラ其ノ租稅ノ割マデハ其ノ切手デ、アトノ九割ハ現金ト云フヤウニスル方法デアリマス、是ハ今言ヒ合ツテモ駄目ナンデスガ、是ハ大藏省ニ私ノ長イ間ノ願ヒデアリマスカラ、研究シテ見テ下サツタラ宜カラウト思ヒマス、是カドウシテモ大藏省ガ——日本ノ進出ノ賄ヲスルノデアルカラ、ドウシタラ其ノ大キナ賄ヲナシ得ルカト云フコトヲ、今カラ研究シテ置イテ下サツテモ宜カヌ、私ハ御願ヒシテ居ルノデス、昔ハシタノデス、サウシテ決シテ行詰リヤウナコトハアリマセヌ、大藏省ニ賣レタ物ガ賣レズニアルノデ獲ウガ、日本デ造ツタ大キナ物ガ今賣レズニ居ルデハアリマセヌカ、北海道邊リデモ海產物ガ支那ニ賣レタ物ガ賣レズニアルノデ獲ルノヲ制限スルト云フ話デアリマス、是ハウシテ軍票ノ代リニ物ヲドン／＼使ツタラ、ソンナコトニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ物ヲドン／＼支那ヘ持ツテ行ツテ、サ金バカリ考ヘテ居ラナイヤウニ願ヒマス、豫算モ人ト物トノ上ニ立ツヤウニシテ日本

人ハ外國人ヨリ良イ頭ヲ持ツテ居ルカラ、私ハ面白イ豫算ガ出來ルト思ヒマス、併シヒマス、其ノ拂ツタ切手ハ來年カラ、或ル所ハ二年後、三年後デ宜イデセウ、最初ハ來年カラ其ノ八十錢ハ租稅支拂ニ流用スルコトニスルコトガ出來マス、併シ全部ソレヲ一度ニ租稅ニ使フ譯ニハ行キマセヌ、ダカラ其ノ租稅ノ割マデハ其ノ切手デ、アトノ九割ハ現金ト云フヤウニスル方法デアリマス、是ハ今言ヒ合ツテモ駄目ナンデスガ、是ハ大藏省ニ私ノ長イ間ノ願ヒデアリマスカラ、研究シテ見テ下サツタラ宜カラウト思ヒマス、是カドウシテモ大藏省ガ——日本ノ進出ノ賄ヲスルノデアルカラ、ドウシタラ其ノ大キナ賄ヲナシ得ルカト云フコトヲ、今カラ研究シテ置イテ下サツテモ宜カヌ、私ハ御願ヒシテ居ルノデス、昔ハシタノデス、サウシテ決シテ行詰リヤウナコトハアリマセヌ、大藏省ニ賣レタ物ガ賣レズニアルノデ獲ウガ、日本デ造ツタ大キナ物ガ今賣レズニ居ルデハアリマセヌカ、北海道邊リデモ海產物ガ支那ニ賣レタ物ガ賣レズニアルノデ獲ルノヲ制限スルト云フ話デアリマス、是ハウシテ軍票ノ代リニ物ヲドン／＼使ツタラ、ソンナコトニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ物ヲドン／＼支那ヘ持ツテ行ツテ、サ金バカリ考ヘテ居ラナイヤウニ願ヒマス、豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌトマデ思ツテ居リマス、ソレハ我ガ國ノ豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツテ來テ居ル、サウシテ是カラハ物ト人ニ移ツテ行クベキデアル、更ニ其ノ人トハ何ゾヤ、今ノ星サンノ御話ノ如クニ人トハ即チ

○塚本(重)委員 今星サンノ御質問、私至極同感デアツタノデアリマスガ、切手貯金ニ依ル國債購入ノ話、ソレカラ物ト人トノ話、非常ニ有益ニ承リマシタ、殊ニ星サンノ物ト人トノ御意見、是ハ私七十四議會デアツタカト思ヒマスガ、星サンノ決算委員會ニ於カレテノ同様ナ御意見ヲ拜聽シテ、其ノ當時カラ興味深ク感ジテ居ツタ問題デアリマス、私モヤハリ豫算ノ上づハサウ云フコトヲ古クカラ考ヘテ居リマシテ、去年モ或ル所デ其ノコトヲ言ツタノデアリマスガ、私ハ豫算ノ歴史ト云フモノヲ見テ居リマシテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌトマデ思ツテ居リマス、ソレハ我ガ國ノ豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツテ來テ居ル、サウシテ是カラハ物ト人ニ移ツテ行クベキデアル、更ニ其ノ人トハ何ゾヤ、今ノ星サンノ御話ノ如クニ人トハ即チ

○松田委員長 塚本君 勞働デアル、唯單ナル人デハナクシテ、人間ノ持ツテ居ル勞働ト云フモノガ豫算ノ上ニ現ハレテ來ナケレバナラヌ、其ノ上ニ物動計畫ガ自由主義、資本主義ノ頭ニ囚ハレテ居ツテシタモノ、發達セシメタモノデアリマセウ、其ノ銀行カラ來タ資本ノ動キニ吾々ハ奴隸ニナツテ居ルト思ヒマス、ドウカ本當ニ人ト物トヲ豫算ニ編成スルコトノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ希望デアリマス、直グニ——來年ハソレヲ採リ入レタ豫算ヲ日本デモヤリ、滿洲デモ、支那デモ、佛印デモ、何處ヘデモサウ云フ風ニ豫算ヲ組ムヤウニ大藏省ニ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ致シマス

○塚本(重)委員 今星サンノ御質問、私至極同感デアツタノデアリマスガ、切手貯金ニ依ル國債購入ノ話、ソレカラ物ト人トノ話、非常ニ有益ニ承リマシタ、殊ニ星サンノ物ト人トノ御意見、是ハ私七十四議會デアツタカト思ヒマスガ、星サンノ決算委員會ニ於カレテノ同様ナ御意見ヲ拜聽シテ、其ノ當時カラ興味深ク感ジテ居ツタ問題デアリマス、私モヤハリ豫算ノ上づハサウ云フコトヲ古クカラ考ヘテ居リマシテ、去年モ或ル所デ其ノコトヲ言ツタノデアリマスガ、私ハ豫算ノ歴史ト云フモノヲ見テ居リマシテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌトマデ思ツテ居リマス、ソレハ我ガ國ノ豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツテ來テ居ル、サウシテ是カラハ物ト人ニ移ツテ行クベキデアル、更ニ其ノ人トハ何ゾヤ、今ノ星サンノ御話ノ如クニ人トハ即チ

○松田委員長 塚本君 勞働デアル、唯單ナル人デハナクシテ、人間ノ持ツテ居ル勞働ト云フモノニ依ツテ組マレテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌ、其ノ上ニ物動計畫ガ自由主義、資本主義ノ頭ニ囚ハレテ居ツテシタモノ、發達セシメタモノデアリマセウ、其ノ銀行カラ來タ資本ノ動キニ吾々ハ奴隸ニナツテ居ルト思ヒマス、ドウカ本當ニ人ト物トヲ豫算ニ編成スルコトノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ希望デアリマス、直グニ——來年ハソレヲ採リ入レタ豫算ヲ日本デモヤリ、滿洲デモ、支那デモ、佛印デモ、何處ヘデモサウ云フ風ニ豫算ヲ組ムヤウニ大藏省ニ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ致シマス

○塚本(重)委員 今星サンノ御質問、私至極同感デアツタノデアリマスガ、切手貯金ニ依ル國債購入ノ話、ソレカラ物ト人トノ話、非常ニ有益ニ承リマシタ、殊ニ星サンノ物ト人トノ御意見、是ハ私七十四議會デアツタカト思ヒマスガ、星サンノ決算委員會ニ於カレテノ同様ナ御意見ヲ拜聽シテ、其ノ當時カラ興味深ク感ジテ居ツタ問題デアリマス、私モヤハリ豫算ノ上づハサウ云フコトヲ古クカラ考ヘテ居リマシテ、去年モ或ル所デ其ノコトヲ言ツタノデアリマスガ、私ハ豫算ノ歴史ト云フモノヲ見テ居リマシテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌトマデ思ツテ居リマス、ソレハ我ガ國ノ豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツテ來テ居ル、サウシテ是カラハ物ト人ニ移ツテ行クベキデアル、更ニ其ノ人トハ何ゾヤ、今ノ星サンノ御話ノ如クニ人トハ即チ

○松田委員長 塚本君 勞働デアル、唯單ナル人デハナクシテ、人間ノ持ツテ居ル勞働ト云フモノニ依ツテ組マレテ、同ジ觀點ヲ以テ見テ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、モウ一ツ私ハ進シテ行カナケレバナラヌトマデ思ツテ居リマス、ソレハ我ガ國ノ豫算ハ金ト云フモノニ依ツテ組マレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツタノデアリマスガ、其ノ後金ト物トニ移ツテ來テ居ル、サウシテ是カラハ物ト人ニ移ツテ行クベキデアル、更ニ其ノ人トハ何ゾヤ、今ノ星サンノ御話ノ如クニ人トハ即チ

ルカト云フコトニ付テハ、尙ホ多クノ疑問
ハ持ツテ居リマスルケレドモ、當局デーツ
考ヘテ戴キタイ問題ハ、家賃ノ敷金ノ問題
デアリマス、家賃ノ敷金ト云フモノガ遊ン
デ居ル譯ズハナイ、勿論家主ハソレヲ有效
ニ効カシテ居ルデアリマセウケレドモ、今
日多數借家住マヒヲシテ居リマスル借家人
ガ、家主サンニ預ケテ居ル所ノ敷金ノ額ト
云フモノハ相當多額ニ達シテ居ルコトハ、
是ハモウ直グニ想像出來ル所デアリマス、
私ハ之ヲ具體的ニ調べ上ゲヨウト致シマシ
タケレドモ、之ヲ調べ上ゲル資料ガ何等ア
リマセヌ、厚生省ニ參リマシテモ、或ハ六
大都市ニ參リマシテモ、ソレヲ綿密ニ調査
スペキ資料ガアリマセヌノデ、具體的ニハ
ドレ位ニナツテ居ルカト云フコトヲ申上ゲ
ラレマセヌガ、兎ニ角想像デハ相當ノ巨額
ニ上ツテ居ルト云フコトダケハ疑ヒナイノ
デアリマス、之ヲ國債ヲ以テ敷金ニ充當シ
得ルト云フ途ヲ開イタラドウカ、斯ウ云フ
風ニ考ヘルノデアリマス、勿論サウ云フコ
トニスルト、當局ノ方デハ敷金ト云フモノ
ガ即チ家賃ト云フモノノ上ニ考慮ヲ拂ハレ
テ居ル、敷金ガアル爲ニ家賃ガ安クナツテ
居ル、敷金ヲナクスレバ家賃ハ高クナルト
云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス
ケレドモ、實際ニハ市中ニ於キマシテ敷金
ノナイ前家賃ノ家ノ家賃ト、ソレカラ敷金
ヲ納メテ居ル所ノ後家賃ノ家ノ家賃トガ、
然ラバソンナニ目立ツテ高下ノ相違ガアル
カト言ヘバ、サウ云フコトハアリマセヌ、
ソレデアリマスルカラ私ハ敷金ヲ公債ニ替
ヘタカラト云ツテ、直チニ家賃ガ上ルナドト
云フコトハ考ヘラレナイト思ヒマス、殊ニ
幸ヒニ致シマシテ既ニ今ハ地代、家賃ヲ統

制スル總動員法ノ一部ノ發動ガアル譯デア
リマスカラ、ソレニ依ツテモ抑ヘルコトガ
出來マスノデ、ソレデ家賃ガ上ルナドト云
フヤウナ心配ハ大體ナインデハナイカ、ソ
レガナケラネバ今納メテ居ル所ノ此ノ敷金
ト云フモノヲ公債ニ替ヘ得ルト云フ途ヲ閉
カレタナラバ、是ハ公債消化ノ上ニ非常ニ
宜イコトデハナイカ、又一般借家住マヒヲ
シテ居ル多クノ國民モ喜ブノデハナイカ、
喜ンデ之ヲ國債ニ替ヘルト云フコトニナル
ノデハナイカト云フコトナノデス、勿論是
ハ漸次一般借家人ガ貯蓄ヲ致シマシテ、ザ
ウシテ國債ヲ買ウテ、其ノ國債ヲ家主サン
ノ所ニ持ツテ行ケベ元ノ現金ハ返シテ貰ヘ
ルト云フコトニスレバ、知ラズ識ラズノ裡
ニ漸次國債ニ變ツテ行クト云フコトニナリ
ハシナイカト思フノデアリマス、サウ云フ
コトニ付テ御考ヘニナリマシタコトガアリ
マセウカ、又其ノコトニ對シテ道ウ云フ風
ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、伺ヒタイノ
デアリマス

○廣瀬政府委員 國債消化ノ方法トシテ家
賃ノ敷金ヲ取ツタ場合ニ、ソレヲ國債ニ投
資サセルト云フ考ヘヲシタコトガアルカト
云フ御尋ネカト思フノデアリマス、此ノ問
題ニ付キマシテモ、豫テカラ研究致シテ居
ルノデアリマス、唯御存ジモザイマセウ
ガ、大體一軒二軒ノ貸家ヲ持ツテ居ル方面
深刻ナラシメル、即チ新築家屋ノ建増シト
云フモノノ率ガ少クナツテ行クデアラウト
云フコトモ、一面ニ今御話ノヤウニ考ヘラ
レルノデアリマス、此ノコトハ私達モ固ヨ
リ考ヘテ居リマシタガ、今御話ノ澤山家ヲ
云フ人達ト云フモノハ、或ル一定ノ所マデ
借家ヲ建テシマヘバ、ソレ以上更ニ多クノ
持ツテ居ル所ノ大家主デアリマスガ、サウ
ルモノヲ貰ツテ來ルト云フ風ニシテ、之ヲ
レニ依ツテ住宅ヲ盛シニ獎勵シテ建テナケ
ルコトデハナイカト考ヘル、サウ云フコト

ナイト云フ建前ノモノデアリマス、所ガ貸家ヲ
業トシ相當大キク澤山ノ貸家ヲ持ツテ、敷
金モ相當取ツテ居ルト云フ人達ノ其ノ敷金
ノ運用狀況ヲ見マスト、是ガ大體新タニ、又更
ニ其ノ敷金ヲ運用致シマシテ貸家ヲ建テルト
云フ方向へ向ツテ居ルヤウデアリマス、サ
ウスマスト現在ハ御承知ノヤウニ住宅ガ非
常ニ拂底致シテ居リマシテ、今議會ニ於テモ
住宅ニ關スル何等カノ對策ヲ講ジナケレバ
ナラヌト云フ程ニ、此ノ住宅建設ノ獎勵ト
云フコトガ必要ナ時期ニナツテ居リマスノ
デ、之ヲ國債ニ投資致サセマシタ結果、貸家
ノ増設ガ「チェック」サレルト云フ心配ガアル
ノデアリマス、併シナガラ是ハ統計的ニ尙ホ
精密ナル調査ヲ遂ゲマセヌト、全國ノ敷金ノ
何割ガサウ云ツタヤウナ方面ニ運用サレテ
ガドノ程度アルカト云フ問題モ、今後更ニ
研究ヲ要スル問題ダト思ヒマスガ、大摺ミ
ノ考ヘ方ハ、只今サウ云フコトデ此ノ敷金
ノ考ヘ方ハ、只今サウ云フコトデ此ノ敷金
ヲ以テ國債消化ニ充テルト云フコトニ稍
躊躇ヲ致シテ居ルト云フ譯デアリマス、左
様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 家賃ノ高クナルダラウト云フ
物ノ考ヘ方トサウ云フコトガ借家難ヲ一層
ナク、現ニ納メテ居ル敷金デモ、少シヅツ
借家人ガ貯蓄致シマシテ、公債ヲ一枚買ヘ
バソレヲ家主サンノ所ヘ持ツテ行ツテ、サ
ウシテ過去ニ納メタ敷金ヲ、ソレニ相當ス
ト、今私ノ言ツタヤウナ公債ニ替ヘル、
ソレカラ公債ヲ是カラ先納スルト云フノデ
ナク、現ニ納メテ居ル敷金デモ、少シヅツ
借家人ガ貯蓄致シマシテ、公債ヲ一枚買ヘ
バソレヲ家主サンノ所ヘ持ツテ行ツテ、サ
ウアリマス、今私ノ見テ居ル所ニ依ルト、ソ
レニ依ツテ住宅ヲ盛シニ獎勵シテ建テナケ
ルモノヲ貰ツテ來ルト云フ風ニシテ、之ヲ
公債ニ換ヘテ行クト云フ途ヲ開キタイノデ
アリマス、今私ノ見テ居ル所ニ依ルト、ソ
ノコトデハナイカト考ヘル、サウ云フコト

エルノデアリマス、寧ロ今言ツタヤウナ、
サウ云フ敷金ヲ以テ更ニソレヲ資本トシテ
レバナラヌト云フヤウナ今日ノ時局ダト、
アリマス、今私ノ見テ居ル所ニ依ルト、ソ
ノコトデハナイカト考ヘル、サウ云フコト

ヲヤツテ居ツタ者モ、實ハ新築家屋ヲ居増シテ行クノニハ、建築材料ノ騰貴或ハ工賃ノ騰貴、サウ云フコトカラ致シマシテ非常ニ困難ナヤウニナツテ居ル、是ハ厚生省力ラ出マス住宅營團トカ、サウ云フヤウナ大キナ特殊ノ住宅政策デ以テ行カナケレバ、ソレダケデハ到底追付カナイコトハ政府モ能ク御承知ノ通リデアリマス、第一次歐洲戦争ニ參加致シマシタ各國ノ住宅問題ナドヲ見テミマシテモ、概ネハ戰後ニ於キマシテモ尙ホ且ツ十數年ノ長イ間借家政策ニ苦シムニ居ルヤウデアリマス、サウ云フコトカラ見マスト、サウ云フ敷金ニ依ツテ、家ヲ更ニ建テ行クト云フヤウナ政策デハドウシテモ追付カナイノデ、政府ガ乘出シテ、今後戰時戰後ヲ通ジテノ住宅問題解決ニ向ツテ進ンデ行カネバナラヌ時期ニ今ナツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトカラスルナラバ、敷金ヲ以テ新築家屋ノ増設ニ役立タシタルヤウナ姑息ナ手段デハ、到底追付カナイ時ニナツテ居リマスカラ、之ヲ公債消化ノ觀點カラ見レバ、英斷ヲ以テサウ云フ風ナ途ヲ講ゼラレルコトモ一ツノ方法デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田村委員 総計ハ幾ラデアリマスカ
○廣瀬政府委員 総計ハ二百四十三億、端數ハアリマスガ、先ヅ二百四十三億デアリマス
○田村委員 サウ致シマスト、私ノ承リタイト思ヒマス點ハ、金融機關ガ五割五分一厘、此ノ金融機關ヲ通ジテ、預金其ノ他ニ依ツテ一般公衆ノ公債保有ト云フコトモ解釋出來ルト思フノデアリマスガ、私ハ此ノ公債政策ハ唯公債ヲ澤山募ルト云フダケデハ、戰時公債政策トシテハ如何カト思フノデアリマス、公債ガ大キナ資金ノ所ニダケ膨レテ行ツテ、小サナモノニ公債所有ノ潤ヒガナイト云フコトデアツテハ、今日ノ戰時體制下ニ於ケル公債政策トシテ相當考へ公債ニ付テノ昨年度ノ資料ヲ戴イテ居ルノシマシタラ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイ、云フ途ヲ開カレルヤウ御願ヒ致シテ置キマス

○田村委員 総計ハ幾ラデアリマスカ
○廣瀬政府委員 総計ハ二百四十三億、端數ハアリマスガ、先づ二百四十三億デアリマス
○田村委員 サウ致シマスト、私ノ承リタイト思ヒマス點ハ、金融機關ガ五割五分一厘、此ノ金融機關ヲ通ジテ、預金其ノ他ニ依ツテ一般公衆ノ公債保有ト云フコトモ解釋出來ルト思フノデアリマスガ、私ハ此ノ公債政策ハ唯公債ヲ澤山募ルト云フダケデハ、戰時公債政策トシテハ如何カト思フノデアリマス、公債ガ大キナ資金ノ所ニダケ膨レテ行ツテ、小サナモノニ公債所有ノ潤ヒガナイト云フコトデアツテハ、今日ノ戰時體制下ニ於ケル公債政策トシテ相当考へ公債ニ付テノ昨年度ノ資料ヲ戴イテ居ルノシマシタラ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイ、云フ途ヲ開カレルヤウ御願ヒ致シテ置キマス

○田村委員 一、二點伺ヒタイ、私ハ出席シテ居ナカツタコトガ多イカラ、或ハ重複シマシタラ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイ、此ノ公債ガ社會ノ如何ナル方面ニ多ク持タレテ居ルカト云フ點ヲ先づ第一ニ伺ヒタ
○田村委員 只今ノ御質問ハ政府ノ調査ニ於ケル所トピタリト合フカドウカ分リマスガ、私共ノ取調べノ方ト致シマシテハ、大體金融機關ノ方デドレ位消化スル、政府筋デドレ位消化スル、其ノ他一般國民大衆等ニ於テドレ位消化シタカ、斯ウ云フ三ツニ分ケテ居ル譯デアリマス、昨年ノ六月末現在、是ガ今日統計ノ出來上リマシタ中デハ一番新シイノデアリマスルガ、ソレニ依リマスト、金融機關ノ方面ニ於テハ——割合ヲ申上ゲマスカ、實額ヲ申上ゲマスカ
○田村委員 割合デ結構デアリマス
○廣瀬政府委員 割合ハ五割五分一厘、ソレカラ政府筋ガ二割九分八厘、公衆及びその他ガ一割五分一厘、斯ウ云フ狀態ニナツテ居リマス
○田村委員 総計ハ幾ラデアリマスカ
○廣瀬政府委員 総計ハ二百四十三億、端數ハアリマスガ、先づ二百四十三億デアリマス
○田村委員 サウ致シマスト、私ノ承リタイト思ヒマス點ハ、金融機關ガ五割五分一厘、此ノ金融機關ヲ通ジテ、預金其ノ他ニ依ツテ一般公衆ノ公債保有ト云フコトモ解釋出來ルト思フノデアリマスガ、私ハ此ノ公債政策ハ唯公債ヲ澤山募ルト云フダケデハ、戰時公債政策トシテハ如何カト思フノデアリマス、公債ガ大キナ資金ノ所ニダケ膨レテ行ツテ、小サナモノニ公債所有ノ潤ヒガナイト云フコトデアツテハ、今日ノ戰時體制下ニ於ケル公債政策トシテ相当考へ公債ニ付テノ昨年度ノ資料ヲ戴イテ居ルノシマシタラ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイ、云フ途ヲ開カレルヤウ御願ヒ致シテ置キマス

○相田政府委員 農村ノ信用組合ノ方ノ利率ハハツキリ致シテ居リマセヌガ、市街地ニ渡ルヤウニ致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ又最近ニ於キマシテハ、證券引受會社ニ一旦國債ヲ買ハセマシテ、ソレラドン／＼地方ニ賣捌カセルト云フヤウナ方法ニ付テモ、政府ハ之ヲ獎勵致シマシテ、相當顯著ナ成績ヲ擧ゲテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云ツタヤウナ方法ニ依ツテ賣捌カレタ國債引下ゲテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思索致シテ居リマス
○田村委員 市街地ハ御說ノ通り三分四厘内外ト思ヒマスケレドモ、農村ノ信用組合ガ手ニ入レルトヲ問ハズ、大キナ所ガ膨レテ居ルカト云フ點ヲ先づ第一ニ伺ヒタ
○田村委員 其ノ御考へハ能ク分ルノデア

ノ現在ノ利息ハ、所ニ依ツテ多少ノ違ヒハ
アルカモ知レマセヌガ、私ノ承知致シテ居
リマス所ニ依ルト、現在デモ尙ホ六分内外
ト云フ所ニアルト思フノデス、信用組合ノ
利息ガ六分デアルトスレバ、之ニ三分、五、
六厘ノ公債ヲ保有サスト云フコトハ、事實
上不可能デアリマス、假ニ農村デ色々ナ今
日ノ事變的ナ認識ヲ持ツテ農村民ガ公債ヲ
持チマシテモ、信用組合ノ方へ持ツテ行ツ
テ直チニ現金ニ換ヘラレテ、信用組合ノ方
ニ流レルト云フコトガ現ニ地方へ行ツテ見
マスト出テ來テ居ル、ソコデ私ハ信用組合
ガ利息ヲ直チニ引下ガルト云フヤウナコト
ハ、急激ニヤツテ宜イカドウカ、私ハ確信
ヲ持チマセヌガ、假ニ私ガ今申上ガルヤウ
ナコトガアリトスレバ、信用組合ノ利息ヲ
ドウスルカ、或ハ急ニ下ガラレナイナラ
バ、ソレニ對シテ政府ハ適當ナ對策ヲ講ジ
テ、農村ノ一般公衆ニ公債ヲ保有セシムル
デスガ、此ノ點ニ對スル次官ノ御意見ハ如
何デスカ

○廣瀬政府委員 只今ノ御意見ハ洵ニ御同

感ノ點ガ多イノデアリマスルガ、唯國債ヲ

農村ニ於テマダ十分持タナイト云フ點ニ付

キマシテハ、果シテソレガ金利ノ關係、即

チ採算ノ上カラ持タナインデアルカドウカ

ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ多少其ノ

點ニ付テハ疑問ヲ持ツテ居リマス、ト申シ

マスノハ、事變以來ノ郵便貯金ノ増加ガ、

農村ト都市トヲ分ケテ見マスト、大體增加

率ガ同ジデス、サウ云ツタヤウナ關係ヲ見

マシテモ、郵便貯金ハ御承知ノヤウニ金利

ト云フ點カラ言ヘバ一番低イモノデアリマ

スルガ、ソレデモヤハリ農村ニ於テ此ノ一

番低イ郵便貯金ト云フモノハ、都會ト同ジ

モ、農村人ガ必ズシモ金利ノミニ依ツテ動

イテ居ルトハ考ヘラレナインデハナイカ、

ソコデ問題ハ一體國債ト云フモノニ對シテ

ドノ程度認識サレテ居ルカ、又國債ノ保管

ト云フコトニ付テ、ドノ程度農村ガ便宜ヲ

持ツテ居ルカト云フコトニアルグラウト云

フコトモ考ヘラレマスノデ、御承知ノヤウ

ニ昨年カラ國債ニ付キマシテハ、國債バカ

リデハアリマセヌ、報國債券、貯蓄債券ニ

付テモサウデアリマスガ、郵便局デ無料保

管フヤル、之ヲヤリマスレバ、假令ソレガ

タガ、私ハ長期事變ノ對應策トシテ考ヘナ

ケレバナラヌコトハ、事變ダカラ公債ノ認識

ヲ深メテ、公債ヲ兎ニ角持テルト云フダケ

デハヤハリイケナイノデアツテ、公債ヲ持

ツコトガ國民ノ國家ニ對スル公義務デアル

ト云フ、所謂報國思想ト云フコトト、一ツ

ハ公債ヲ持ツ喜ビト云フ人間ノ心理ニ食ヒ

ツコトガ國民ノ國家ニ對スル公義務デアル

ト云フコトニ依ツテ、公債應募力ヲ漸次増

特ニ公債ニ對スル國家觀念ト、一方公債ニ

對スル他ノ金利ノ關係ニ於テ、喜ビラ持ツ

ト云フコトニ依ツテ、公債應募力ヲ漸次増

大セシムルヤウナ根本ノ考ヘ方ヲ立テ行

キタイト云フコトヲ、特ニ私ハ御註文申上

ゲテ置キタイト思フ、其ノ點ハ御註文ニ止

メテ置キマス

ソレカラ是ハ少シ何ニナリマスガ、今米

穀國家管理フヤルコトニナツテ、政府デ米ヲ

買入レル、其ノ米ノ買入資金ヲ信用組合ノ

手ヲ通シテヤルトカ、或ハ公債ニ依ツテヤ

ルトカ云フヤウナコトガ、地方デハ區々ニ

言ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ

ドウ云フ風ナヤリ方ニナツテ居リマスカ、

公債政策ニ關係ガアリマスカドウカラ承リ

タイ

○廣瀬政府委員 米穀管理ニ依リマスル所

ノ米穀ノ買上代金ト云フモノハ、大體只今

トニナツテ來レバ、公債保有ガ增大シテ行

ク譯デスカラ、其ノ點ニ付テ國民ニ對シテ

組合ノ預金ニ致サセマシテ、サウシテ出來

ルダケ其ノ必要ノ限度ニ於テ之ガ引出シヲ

認メルト云フコトニ致ス、ソレハドウシテ
サウ云フ方法ヲ執ルカト申シマスト、今度
ノ米穀管理ノ方法ニ依リマスルト、從來ヨ
リカ短期間ニ相當多量ノ米ノ買上ガ行ハレ
マスノデ、普通ノ時ヨリモ資金的ノ流レガ
トル、的ニ蓄メテ置キ、必要ニ應ジテ引出
スト云フコトハ、結局從前ノヤウニ必要ノ
場合ニ其ノ金ヲ使ハレト云フ狀態ニシヤウ
ト云フ目標デ以テ、サウ云ツタヤウナ方針
ヲ立テ居ル譯デアリマス

○田村委員 サウスルト、ソレハ信用組合
ダケニ決定セラレ居ル譯デスガ、地方デ

ハ郵便貯金通帳ニ替ヘテ保管サストカ、或

ハ信用組合ヲ通ジテ實ハ公債ニ變ツテ來ル
ノデハナカト云フヤウナコトヲ言ハレテ

居リマスガ、サウ云フコトハアリマセスカ

○廣瀬政府委員 公債デ拂フト云フヤウナ
コトハ全然考ヘテ居リマセヌ、唯米穀證券

其ノモノハ一種ノ短期ノ國債デアリマス
ガ、サウ云フ意味ノ公債ト云フコトナラ

バ、米穀證券デ拂フト云フコトハ即チ公債

デ拂フト云フコトニナリマスガ、利附ノ長

期ノ國債デ米ヲ買フトカ、米ノ代金ヲ拂フ
ト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居リマセ

ス、尙ホ郵便貯金ニ付テモ考ヘテ居リマセ
ス

○田村委員 ソレカラ今一點、貯蓄ヲ獎勵

シテ生産資金ニ向ケルト云フヤウナコトデ
金融政策ニ關聯シテ非常ニ影響スル所ガア

ルト思フノデスガ、地方デ今信用組合ガス
ウ云フ殊ニ米穀證券ナドデ大ナル活躍ラス

ル、一方郵便貯金ガ非常ニ活動シテ居ル譯
デアリマスガ、地方ノ商業銀行トカ何トカ

サウ云フ方法ヲ執ルカト申シマスト、今度
ノ米穀管理ノ方法ニ依リマスルト、從來ヨ
リカ短期間ニ相當多量ノ米ノ買上ガ行ハレ
マスノデ、普通ノ時ヨリモ資金的ノ流レガ
トル、的ニ蓄メテ置キ、必要ニ應ジテ引出
スト云フコトハ、結局從前ノヤウニ必要ノ
場合ニ其ノ金ヲ使ハレト云フ狀態ニシヤウ
ト云フ目標デ以テ、サウ云ツタヤウナ方針
ヲ立テ居ル譯デアリマス

○田村委員 サウスルト、ソレハ信用組合
ダケニ決定セラレ居ル譯デスガ、地方デ

ハ郵便貯金通帳ニ替ヘテ保管サストカ、或

ハ信用組合ヲ通ジテ實ハ公債ニ變ツテ來ル
ノデハナカト云フヤウナコトヲ言ハレテ

居リマスガ、サウ云フコトハアリマセスカ

○廣瀬政府委員 公債デ拂フト云フヤウナ
コトハ全然考ヘテ居リマセヌ、唯米穀證券

其ノモノハ一種ノ短期ノ國債デアリマス
ガ、サウ云フ意味ノ公債ト云フコトナラ

バ、米穀證券デ拂フト云フコトハ即チ公債

デ拂フト云フコトニナリマスガ、利附ノ長

期ノ國債デ米ヲ買フトカ、米ノ代金ヲ拂フ
ト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居リマセ

ス、尙ホ郵便貯金ニ付テモ考ヘテ居リマセ
ス

云フヤウナ小サナ銀行ガ、ヤハリ生產擴充
其ノ他色々仕事ノ上ニ從來機能ヲ持ツテ
居ル譯デアリマス、之ヲ合同致シマスト色
色ナ影響ヲ來スト恩フノデスガ、實ハ昨年
秋移動調査ナドニ地方ニ行ツテボツツヘ聞
イテ歩イテ見マスト、ドウモ普通銀行、商
業銀行ノ小サナモノモ、現在ノ事變下ニ於
テ相當必要ナ機能ヲ持ツテ居ル、之ヲ唯統
合スルト云フコトダケ考ヘルベキデハナ
イト云フヤウナ聲ヲ相當ニ聞クノデスガ、
此ノ問題ニ關聯シテ、地方銀行ノ統合問題ハ
ドウ云フ御方針ヲ御持チニナツテ居リマス
カ、承ルコトガ出來マシタナラバ幸ヒデア
リマス

○廣瀬政府委員 地方銀行ノ統合ニ關シマ
シテハ、出來ルダケ其ノ地方ノ實情ニ應ジ
マシテ、而モ一方銀行經營者ノ方ノ經理狀
態モ考ヘ合ハセマシテ、出來ルダケ合理的
性ヲ無視スル、中央ノ統合方針ヲ定メルト、
ニ地方金融ニ支障ヲ來タセナイヤウニ、
而モ今日ノヤウナ低金利時代ニ於テ、銀行
トシテ十分成立ツテ行ク限度ニ於テ適當ナ
統合ヲ致シタイ、斯ウ云フ方針デ進ヌテ居
ル次第アリマス

○田村委員 サウシマスト、地方銀行ノ統
合ハ色々ナ政府ノ金融政策、或ハ公債政策
ト云フヤウナコトカラノミデハナクシテ、
地方ノ事業關係、生產關係ト云フヤウナコ
トヲ同一程度ニ重點ヲ置イテ考ヘラレテ居
ルト、斯ウ受取ツテ宜シウゴザイマスカ

○廣瀬政府委員 大體地方ノ金融事情ト申
シマスカ、其ノ地方々々ノ實情ハ十分考慮
ニ入レマシテ、合併勸奨等ハ致シテ居リマ
ス、尙ホ郵便貯金ニ付テモ考ヘテ居リマセ
ス

ノ經理ガ惡イノハ仕方ガナインデスガ、サ
ウデナイモノデハ——是ハ餘談ニナリマス
ガ、現在ノ生產擴充ト云フヤウナ點ニ付テ
ハ、中央デハ重點主義、大キナモノト云
フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデアリマス
ガ、地方的ニ見マシテ、日本ハ家内工業ト
云フモノガ非常ナ重大性ヲ持ツテ居リマス
シ、是ハ國民生活ノ所謂生活體トシテノ
合スルト云フコトダケ考ヘルベキデハナ
イト云フヤウナ聲ヲ相當ニ聞クノデスガ、
此ノ問題ニ關聯シテ、地方銀行ノ統合問題ハ
ドウ云フ御方針ヲ御持チニナツテ居リマス
カ、承ルコトガ出來マシタナラバ幸ヒデア
リマス

○廣瀬政府委員 地方銀行ノ統合ニ關シマ
シテハ、出來ルダケ其ノ地方ノ實情ニ應ジ
マシテ、而モ一方銀行經營者ノ方ノ經理狀
態モ考ヘ合ハセマシテ、出來ルダケ合理的
性ヲ無視スル、中央ノ統合方針ヲ定メルト、
ニ地方金融ニ支障ヲ來タセナイヤウニ、
而モ今日ノヤウナ低金利時代ニ於テ、銀行
トシテ十分成立ツテ行ク限度ニ於テ適當ナ
統合ヲ致シタイ、斯ウ云フ方針デ進ヌテ居
ル次第アリマス

○田村委員 サウシマスト、地方銀行ノ統
合ハ色々ナ政府ノ金融政策、或ハ公債政策
ト云フヤウナコトカラノミデハナクシテ、
地方ノ事業關係、生產關係ト云フヤウナコ
トヲ同一程度ニ重點ヲ置イテ考ヘラレテ居
ルト、斯ウ受取ツテ宜シウゴザイマスカ

○廣瀬政府委員 大體地方ノ金融事情ト申
シマスカ、其ノ地方々々ノ實情ハ十分考慮
ニ入レマシテ、合併勸奨等ハ致シテ居リマ
ス、尙ホ郵便貯金ニ付テモ考ヘテ居リマセ
ス

ノ經理ガ惡イノハ仕方ガナインデスガ、サ
ウデナイモノデハ——是ハ餘談ニナリマス
ガ、現在ノ生產擴充ト云フヤウナ點ニ付テ
ハ、中央デハ重點主義、大キナモノト云
フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデアリマス
ガ、地方的ニ見マシテ、日本ハ家内工業ト
云フモノガ非常ナ重大性ヲ持ツテ居リマス
シ、是ハ國民生活ノ所謂生活體トシテノ
合スルト云フコトダケ考ヘルベキデハナ
イト云フヤウナ聲ヲ相當ニ聞クノデスガ、
此ノ問題ニ關聯シテ、地方銀行ノ統合問題ハ
ドウ云フ御方針ヲ御持チニナツテ居リマス
カ、承ルコトガ出來マシタナラバ幸ヒデア
リマス

○廣瀬政府委員 政府ト致シマシテハ、公
債ノ強制保有ノ制度ヲ布クト云フ考ヘハ、
只今全然考ヘテ居リマセヌ、唯今度ノ議會
ニ於キマシテ、國民貯蓄組合法案ト云フヤ
ウナモノヲ出シマスケレドモ、是モ強制的
色彩ノナ機能モ持ツテ居ルノデアリマスカラ、
其ノ點ニ於ケル地方ノ小サナ普通銀行ノ機
能ト云フモノハ十分ニ調查シテ、其ノ機能
ヲ尊重シテヤラケレバナラヌ點ガ相當ア
ルト思フノデス、是ハ私ノ見タ儘ヲ申上げ
テ御一考ヲ促シテ置キタイ、中央ガ一つノ
統合方針ヲ立テルト、地方廳ノヤリ方
ハ——地方ノ實情ニ即シテ云々ト、今次官ハ
仰シヤツタノデスガ、地方ニ行キマスト、實
情ヲ無視スル、中央ノ統合方針ヲ定メルト、
威カシタリ賺シタリシテ、或ハ地方ノ經
濟界ノ實情、業界ノ實情ヲ無視シテヤル、
ソレガ人心ニ及ボス影響、生産ニ及ボス影
響ト云フモノハ相當大ナルモノガアルト思
フノデスカラ、此ノ方針ヲ中央デ立テラレ
ルニ付テハ、餘程其ノ實行ノ上ニ重大ナル
御考慮ヲ拂ツテ戴カナケレバナラヌト云フ
コトヲ私ハ御註文申上げテ置キマス

○中野(寅)委員 簡單ニ伺ヒマス、今ハ國
ガ三百億近イ借金ヲスル時代デスカラ、少
シシテ——特ニ富山縣ナドモ運動ヲシテ廢
思フ、ソレハ賣畫印紙稅ノ設定デス、是ハ
五十一議會デ、社會政策的見地カラ大運動
シシテ——特ニ富山縣ナドモ運動ヲシテ廢
止シタ、是ハ能ク調査シテ戴イタナラバ相
當ノ稅額ニ上ルト思フノデアリマス、此處
ニ星一サンガ居ラレルガ、星サンノ方ノ藥
ハ別デスケレドモ、ドウモ今ノ藥ノ中ニハ
利イテモ利カナクテモ宜イヤウナ、氣休メ
ノ藥モアリマス、毒ニモ藥ニモナラナイモ
ノモアル、主ニ此ノ頃高イ藥ハ精力ヲ強ク
スル強精劑、ソレカラ贅澤劑、サウシテ印
紙モ貼ラナイモノダカラ、藥ヲ濫用シ、藥
ヲ輕視スル傾キガアル、斯ウ云フ高價藥ナ
ドニハ從價稅ヲ課ケテモ宜イカラ、之ヲ調
査シテ戴ケバ、相當ナ收入ガアルト思フノ
デアリマス、隨分長イ間印紙ヲ貼ラナイデ
レドモ、是ハ檢討スル必要ガアルト思ヒマ

○田村委員 宜シウゴザイマス

○中野(寅)委員 簡單ニ伺ヒマス、今ハ國
ガ三百億近イ借金ヲスル時代デスカラ、少
シシテ——特ニ富山縣ナドモ運動ヲシテ廢
思フ、ソレハ賣畫印紙稅ノ設定デス、是ハ
五十一議會デ、社會政策的見地カラ大運動
シシテ——特ニ富山縣ナドモ運動ヲシテ廢
止シタ、是ハ能ク調査シテ戴イタナラバ相
當ノ稅額ニ上ルト思フノデアリマス、此處
ニ星一サンガ居ラレルガ、星サンノ方ノ藥
ハ別デスケレドモ、ドウモ今ノ藥ノ中ニハ
利イテモ利カナクテモ宜イヤウナ、氣休メ
ノ藥モアリマス、毒ニモ藥ニモナラナイモ
ノモアル、主ニ此ノ頃高イ藥ハ精力ヲ強ク
スル強精劑、ソレカラ贅澤劑、サウシテ印
紙モ貼ラナイモノダカラ、藥ヲ濫用シ、藥
ヲ輕視スル傾キガアル、斯ウ云フ高價藥ナ
ドニハ從價稅ヲ課ケテモ宜イカラ、之ヲ調
査シテ戴ケバ、相當ナ收入ガアルト思フノ
デアリマス、隨分長イ間印紙ヲ貼ラナイデ
レドモ、是ハ檢討スル必要ガアルト思ヒマ

○田村委員 ソレカラ今一點、貯蓄ヲ獎勵

シテ生産資金ニ向ケルト云フヤウナコトデ
金融政策ニ關聯シテ非常ニ影響スル所ガア

ルト思フノデスガ、地方デ今信用組合ガス
ウ云フ殊ニ米穀證券ナドデ大ナル活躍ラス

ル、一方郵便貯金ガ非常ニ活動シテ居ル譯
デアリマスガ、地方ノ商業銀行トカ何トカ

サウ云フ方法ヲ執ルカト申シマスト、今度
ノ米穀管理ノ方法ニ依リマスルト、從來ヨ
リカ短期間ニ相當多量ノ米ノ買上ガ行ハレ
マスノデ、普通ノ時ヨリモ資金的ノ流レガ
トル、的ニ蓄メテ置キ、必要ニ應ジテ引出
スト云フ目標デ以テ、サウ云ツタヤウナ方針
ヲ立テ居ル譯デアリマス

○田村委員 サウスルト、ソレハ信用組合
ダケニ決定セラレ居ル譯デスガ、地方デ

ハ郵便貯金通帳ニ替ヘテ保管サストカ、或

ハ信用組合ヲ通ジテ實ハ公債ニ變ツテ來ル
ノデハナカト云フヤウナコトヲ言ハレテ

居リマスガ、サウ云フコトハアリマセスカ

○廣瀬政府委員 公債デ拂フト云フヤウナ
コトハ全然考ヘテ居リマセヌ、唯米穀證券

其ノモノハ一種ノ短期ノ國債デアリマス
ガ、サウ云フ意味ノ公債ト云フコトナラ

バ、米穀證券デ拂フト云フコトハ即チ公債

デ拂フト云フコトニナリマスガ、利附ノ長

期ノ國債デ米ヲ買フトカ、米ノ代金ヲ拂フ
ト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居リマセ

ス、尙ホ郵便貯金ニ付テモ考ヘテ居リマセ
ス

○田村委員 ソレカラ今一點、貯蓄ヲ獎勵

シテ生産資金ニ向ケルト云フヤウナコトデ
金融政策ニ關聯シテ非常ニ影響スル所ガア

ルト思フノデスガ、地方デ今信用組合ガス
ウ云フ殊ニ米穀證券ナドデ大ナル活躍ラス

ル、一方郵便貯金ガ非常ニ活動シテ居ル譯
デアリマスガ、地方ノ商業銀行トカ何トカ

ス、製薬者ニ對スル今ノ營業収益税ト賣藥印紙税ト比較シテ、成ベク餘計取レル方ニ一ツ國家ノ方デ骨ヲ折ツテ戴キタイ、此頃新聞ナドヲ見ルト、藥ノ廣告ガ一パイ載ツテ居ルコトハ皆サンモ御承知デアリマセウ、ソレニハ「ボルモン」剤トカ、刺戟剤ガ多イ、アンナモノハ飲ンデモ飲マナクテモ宜イヤウニ吾々ハ感ズル、張切ツテ放ダズ、斯ウ云フ戰時ノ際デスカラ、張切ツテ居ルコトハ必要デス、併シ張切ツテ放シテハ駄目ダ、日本ノ海軍ノヤウニ満ヲ持シテ放タズ、斯ウ云フコトデナケレバナラヌ、ソレヲ消耗戦ノ後ニ兵站補充ヲスルヤウナ藥ヲヤクランニ飲マレタラ堪ツタモノデナイ、サウ云フモノヲ飲ミタイ者ハ然ルベク稅金、印紙税ヲ拂フコトニシタナラバ宜イト思ヒマス、是ハ私餘程考ヘタ問題デスカラ、大藏省ニ於テモ早速一ツ調査ヲサレテ、サウシテ國ノ收入ヲ増シテ貰フヤウニ願ヒ

タイ、三百億近イ國ノ借金ノアル際デアルカラ、斯ウ云フ藥ノ方カラモ稅金、印紙稅ヲ取ルコトハ當然ナ話デアリマス、五十九議會ト思ヒマシタガ、其ノ頃ハ社會政策的見地カラ、山間僻地ニ居ル者ハ藥ヲ飲メナイト云フ譯デ、富山縣ナドハ全縣下舉ゲテ大運動ヲシタ、併シ其ノ賣藥印紙稅ヲ廢シタ時モ多少無理ナコトガアツタカラニ吾吾ハ思ヒマス、印紙稅ヲ保存シテ置イテモノノ方ガウント跋扈シテゴザルガ、サウ云フ譯デ民間ガ勢力ガアツタカラ是ガ通ツタ下ノ方ノ者ガ隨分激シカツタ、今ハ官僚サノデス、併シ是カラノ官僚サンハ決シテ跋扈ナドナサルヤウナコトハナイト思ヒマス

ノ頃新聞ナドヲ見ルト、藥ノ廣告ガ一パイ載ツテ居ルコトハ皆サンモ御承知デアリマセウ、ソレニハ「ボルモン」剤トカ、刺戟剤

ノデ、是ハ一ツ捨テ置カズニ御調查ヲ願ヒタイ、是ダケ希望致シテ置キマス

○松田委員長 別ニ政府ノ答辯ヲ求メラレル譯デハナインデスネ

○中野(寅)委員 極ク簡単ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○廣瀬政府委員 只今ノ中野サンノ御希望ノ點ハ、大體ニ於キマシテ、今後御意見ノ點ヲ十分參酌致シマシテ、研究ヲ續ケテ行キタイト思ツテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○松田委員長 他ニ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ御諮リ致シマスガ、只今議題トナツテ居リマスル昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、ソレカラ昭和十五年法律第七號中改正法律案、此ノ二案ニ對スル大體ノ質問ハ之ヲ以テ終了シタコト致シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○松田委員長 ソレデハ御異議ナイモノト認ヌマシテ、此ノ採決ニ入ル前ニ簡単ナ御質問ガアレバ、御許シスルコトト致シマシテ、是デ大體ノ質問ハ打切ツタコトニ致シマス、明日ハ本會議デ軍事費特別會計ノ追加豫算ノ補填公債發行ノ件ヲ報告致シタトイマス、明日ハ午後一時ヨリ開會致シタトイマス、明日ハ本日ハ是ヲ以テ散會致シマシテ採決ニ入リタイト思ヒマス、軍事費ノコトデアリマスカラ成ベク御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後三時四十分散會

第六類第一號 昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄

第五回 昭和十六年一月二十九日

三六

昭和十六年一月二十九日印刷

昭和十六年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局